

令和6年度 尾張旭市の教育



令和6年4月に、児童生徒に関する相談・支援機関の拠点として「教育支援センター」を開設しました。



尾張旭市教育委員会

目

次

尾張旭市の概要

尾張旭市の人口の推移……………	1
-----------------	---

教育委員会

歴代教育長・教育委員……………	2
教育委員会の組織……………	4
教育委員会の分掌事務……………	5
一般会計と教育費決算額の推移……………	7
令和5年度決算額の状況……………	8
令和6年度当初予算の状況……………	9
尾張旭市教育委員会のあゆみ……………	10
教育委員会の施策……………	17

学校教育

学校支援……………	19
特別支援教育……………	20
就学奨励……………	22
学校保健……………	23
いじめ・不登校対策……………	24
その他の取り組み……………	26
学校施設の大型工事……………	27
義務教育施設の状況……………	28
児童生徒数・学級数等の状況……………	30
中学校卒業後の進路……………	30
高等学校進学率の推移……………	30
児童生徒数の推移……………	31
特別支援学級の推移……………	32
児童生徒の発育状況……………	33
小中学校の通学区域……………	34
尾張旭市立小学校・中学校……………	36
年齢別人口からみた	
学校別・児童生徒数とクラス数……………	38
児童生徒数推計	
＜学校別・学年別＞……………	39

学校給食

学校給食の目標……………	43
給食実施の状況……………	43
給食の内容……………	44
主な食育事業……………	45

社会教育

生涯学習の推進……………	46
青少年教育……………	46
成人教育……………	47

社会教育団体の育成……………	47
文化振興……………	48
文化財保護……………	50
社会教育施設等……………	53
文化会館……………	54
公民館……………	57
各種講座……………	58
公民館等の利用状況……………	59
自主活動団体の育成・援助……………	60
図書館……………	62

社会体育

市民スポーツの普及・振興……………	65
指導者・少年スポーツの育成……………	66
スポーツ団体の育成……………	66
体育施設の整備充実……………	68

資料

各種委員会委員……………	72
学校医・学校薬剤師……………	77
教育関係施設一覧……………	79

【表紙の説明】

令和6年4月に開設した、「教育支援センター」の写真。

「心の居場所になれるよう、一人ひとりに寄り添う拠点」とし、子どもたちやその保護者の方を支援しています。

尾張旭市の概要

尾張旭市の人口の推移

(各年3月末現在)

年次	人口	世帯数	人口密度
昭和 45 年	33,316	8,299	1,580
50	42,172	11,283	2,000
55	52,458	15,364	2,487
60	56,718	17,258	2,701
平成 元 年	63,251	20,002	3,012
2	64,741	20,658	3,083
3	65,886	21,280	3,137
4	66,913	21,841	3,186
5	68,208	22,530	3,248
6	68,985	23,114	3,285
7	69,719	23,638	3,320
8	70,848	24,392	3,373
9	72,279	25,234	3,442
10	73,673	26,086	3,505
11	74,620	26,709	3,553
12	75,489	27,262	3,591
13	76,386	27,929	3,634
14	77,458	28,674	3,685
15	77,888	29,089	3,705
16	78,654	29,646	3,742
17	79,220	30,135	3,769
18	79,546	30,534	3,784
19	80,041	31,035	3,808
20	80,648	31,660	3,835
21	81,505	32,233	3,876
22	81,619	32,465	3,881
23	81,507	32,527	3,876
24	81,953	33,000	3,897
25	81,792	33,065	3,889
26	82,192	33,499	3,908
27	82,361	33,843	3,916
28	82,757	34,272	3,935
29	82,997	34,685	3,947
30	83,372	34,836	3,964
31	83,592	35,318	3,974
令和 2	83,797	35,719	3,984
3	84,135	36,294	4,000
4	83,904	36,493	3,990
5	83,822	36,880	3,986
6	83,816	37,287	3,986

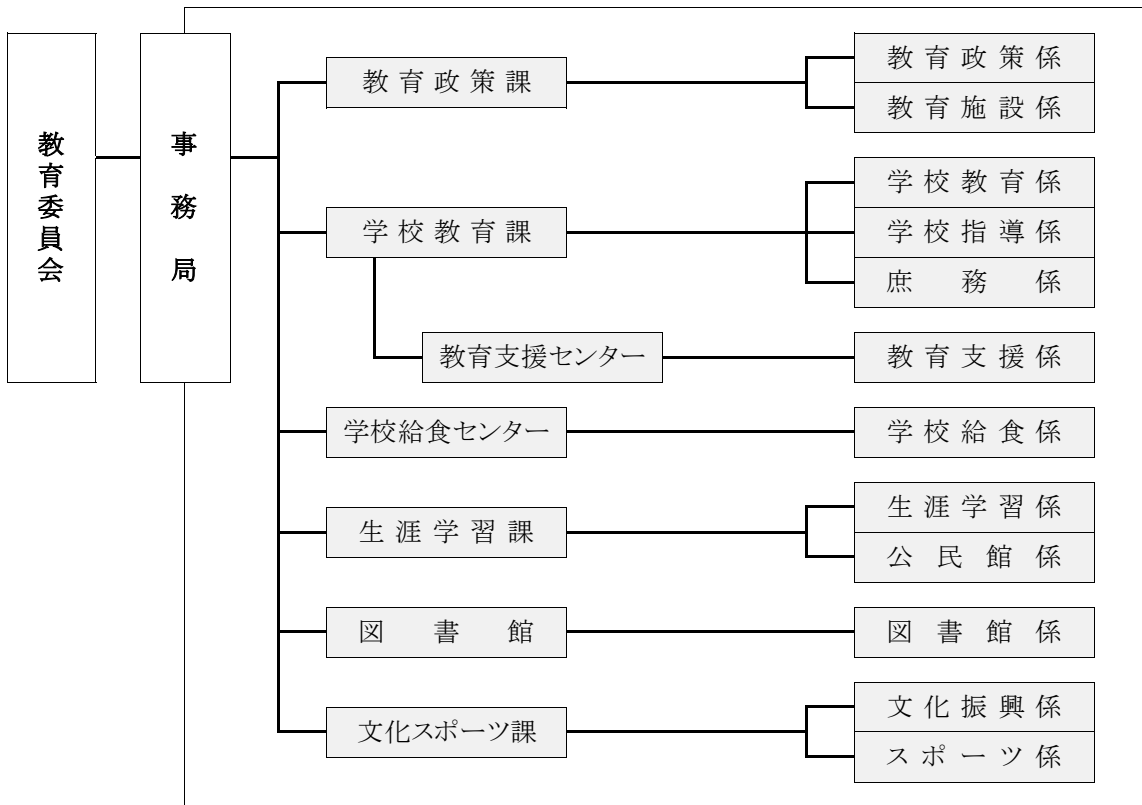
歴代教育長・教育委員

氏 名	在 任 期 間	備 考
川本 宗男	(昭和42. 10. 1) ～ 46. 9. 30	委員長(昭和42. 10. 4～46. 9. 30)
山内 勇夫	(43. 10. 1) ～ 47. 9. 30	
加藤 新吉	(44. 10. 1) ～ 48. 9. 30	
太田 一二	(45. 10. 1) ～ 49. 9. 30	委員長(46. 10. 7～49. 9. 30)
松原 勝	(43. 10. 1) ～ 51. 9. 30	教育長
斉場 鈔男	46. 10. 1 ～ 50. 9. 30	委員長(49. 10. 3～50. 9. 30)
和佐田 高望	47. 10. 1 ～ 48. 10. 4	
矢野 峯清	48. 10. 1 ～ 52. 9. 30	委員長(50. 10. 2～52. 9. 30)
可知 かよ子	48. 12. 15 ～ 51. 9. 30	
見浦 永紀	49. 10. 1 ～ 53. 9. 30	委員長(52. 10. 6～53. 9. 30)
松尾 富之	50. 10. 1 ～ 54. 9. 30	委員長(53. 10. 5～54. 9. 30)
碓永 鎰一	51. 10. 1 ～ 55. 9. 30	委員長(54. 10. 4～55. 4. 30)
水野 芳朗	51. 10. 1 ～ 59. 9. 30	教育長
深谷 信夫	52. 10. 1 ～ 56. 9. 30	委員長(55. 10. 1～56. 9. 30)
柴田 敏之	53. 10. 1 ～ 57. 9. 30	委員長(56. 10. 6～57. 9. 30)
川島 光晴	54. 10. 1 ～ 58. 9. 30	委員長(57. 10. 1～58. 9. 30)
小澤 利明	55. 10. 1 ～ 59. 9. 30	委員長(58. 10. 6～59. 9. 30)
西尾 成之	56. 10. 1 ～ 60. 9. 30	委員長(59. 10. 1～60. 9. 30)
加藤 義之	57. 10. 1 ～ 61. 9. 30	委員長(60. 10. 2～61. 9. 30)
佐伯 恭二	58. 10. 1 ～ 62. 9. 30	委員長(61. 10. 1～62. 9. 30)
立松 嘉男	59. 10. 1 ～ 63. 9. 30	委員長(62. 10. 1～63. 9. 30)
河村 義一	59. 10. 1 ～ 61. 3. 31	教育長
金田 正也	60. 10. 1 ～ 平成元. 9. 30	委員長(63. 10. 1～平成元. 9. 30)
木全 弦	61. 4. 1 ～ 4. 9. 30	教育長
宮崎 金市	61. 10. 1 ～ 2. 9. 30	委員長(平成元. 10. 2～ 2. 9. 30)
大岩 進	62. 10. 1 ～ 3. 9. 30	委員長(2. 10. 1～ 3. 9. 30)
池垣 俊生	63. 10. 1 ～ 4. 9. 30	委員長(3. 10. 1～ 4. 9. 30)
今井 光映	平成元. 10. 1 ～ 5. 9. 30	委員長(4. 10. 1～ 5. 9. 30)
木原 克之	2. 10. 1 ～ 6. 9. 30	委員長(5. 10. 1～ 6. 9. 30)
飯田 幸雄	3. 10. 1 ～ 7. 9. 30	委員長(6. 10. 3～ 7. 9. 30)
磯貝 満洲	4. 10. 1 ～ 8. 9. 30	委員長(7. 10. 2～ 8. 9. 30)
細田 義幸	4. 10. 1 ～ 8. 9. 30	教育長
曾我 尚之	5. 10. 1 ～ 7. 6. 30	
西村 暁夫	6. 10. 1 ～ 10. 9. 30	委員長(9. 10. 1～10. 9. 30)
加藤 壽生	7. 7. 1 ～ 9. 9. 30	委員長(8. 10. 1～ 9. 9. 30)
畑中 弘	7. 10. 1 ～ 11. 9. 30	委員長(10. 10. 1～11. 9. 30)
箕輪 淳子	8. 10. 1 ～ 12. 9. 30	委員長(11. 10. 1～12. 9. 30)
若杉 普	8. 10. 1 ～ 12. 9. 30	教育長
谷口 幸治	9. 10. 1 ～ 13. 2. 13	委員長(12. 10. 1～13. 2. 13)
笠井 健一	10. 10. 1 ～ 14. 9. 30	委員長(13. 3. 23～14. 9. 30)
山本 耕平	11. 10. 1 ～ 15. 9. 30	委員長(14. 10. 1～15. 9. 30)
安藤 公爾	12. 10. 1 ～ 16. 9. 30	委員長(15. 10. 1～16. 9. 30)
小川 進吾	12. 10. 1 ～ 16. 9. 30	教育長
塚本 芳美	13. 3. 23 ～ 17. 9. 30	委員長(16. 10. 1～17. 9. 30)
岩崎 巖	14. 10. 1 ～ 18. 9. 30	委員長(17. 10. 1～18. 9. 30)

丹羽 敏行	15. 10. 1 ～	19. 9. 30	委員長 (18. 10. 1～19. 9. 30)
星合 充基	16. 10. 1 ～	20. 9. 30	委員長 (19. 10. 1～20. 9. 30)
和田 浩志	16. 10. 1 ～	21. 3. 31	教育長
鈴木 章代	17. 10. 1 ～	21. 9. 30	委員長 (20. 10. 1～21. 9. 30)
田中 宏和	18. 10. 1 ～	22. 9. 30	委員長 (21. 10. 1～22. 9. 30)
成瀬 範恭	19. 10. 1 ～	23. 9. 30	委員長 (22. 10. 1～23. 9. 30)
佐伯 公	20. 10. 1 ～	24. 9. 30	委員長 (23. 10. 1～24. 9. 30)
玉置 基	21. 4. 1 ～	28. 9. 30	教育長
細田 智恵子	21. 10. 1 ～	25. 9. 30	委員長 (24. 10. 1～25. 9. 30)
石原 淳二	22. 10. 1 ～	26. 9. 30	委員長 (25. 10. 1～26. 9. 30)
見浦 大耕	23. 10. 1 ～	27. 9. 30	委員長 (26. 10. 1～27. 9. 30)
鈴木 達人	24. 10. 1 ～	28. 9. 30	委員長 (27. 10. 1～28. 9. 30)
谷山 れい子	25. 10. 1 ～	29. 9. 30	
杉浦 ますみ	26. 10. 1 ～	30. 9. 30	
大川 将史	27. 10. 1 ～	令和元. 9. 30	
河村 晋	28. 10. 1 ～	6. 3. 31	教育長
大岩 裕泰	28. 10. 1 ～	2. 9. 30	
山本 真依子	29. 10. 1 ～		
堀 祐子	30. 10. 1 ～	4. 9. 30	
伊藤 智成	令和元. 10. 1 ～	5. 9. 30	
松尾 功	2. 10. 1 ～	6. 9. 30	
鈴木 厚子	4. 10. 1 ～		
戸原 弘二	5. 10. 1 ～		
三浦 明	6. 4. 1 ～		教育長
近藤 三博	6. 10. 1 ～		

教育委員会の組織

1 組織図



2 教育委員会職員数の状況

(令和6年5月1日現在)

職等の区分 所属区分		市 職 員																	県職員 (派遣)		合 計
		行 政 職 員							労務 職員		会計年度任用職員										
		部 長 級	部 次 長 級	課 長 級	課 長 補 佐 級	係 長 級	主 査 級	主 事 級	主 事 補 級	技 能 員	用 務 員	事 務 専 門 員	支 援 教 員	教 育 支 援 員	公 民 館 主 事	生涯学習 アドバイザー	図 書 館 司 書 員	学 芸 員	指 導 主 事	栄 養 教 諭	
事務局	部長・管理指導主事	1	1															※1		2	
	教 育 政 策 課			1	1	2	1	2		1	1									9	
	学 校 教 育 課			2	4		1	1				2	1	5				※3		16	
	学校給食センター			1		1		1			1								3	7	
	生涯学習課			1	1	1	4	1				9				2				19	
	図 書 館			1	1	1	2	1		1		2					4			13	
	文化スポーツ課			1	1	1	4	1	1			1						1		11	
合 計		1	1	7	8	6	12	7	1	2	2	14	1	5	0	2	4	1	※4	3	77

※県職員(派遣)再掲:指導主事については、部次長級、課長級、課長補佐級。

教育委員会の分掌事務

教育政策課

教育政策係

- 1 教育施策の調査、企画、調整及び推進に関すること。
- 2 教育委員会の会議及び教育委員会委員に関すること。
- 3 教育委員会規則等の制定又は改廃の総括に関すること。
- 4 教育委員会の告示及び公告に関すること。
- 5 公印の管理に関すること。
- 6 事務局の職員の任免その他人事に関すること。
- 7 教育委員会の予算及び決算の総括に関すること。
- 8 教育に係る調査及び統計の総括に関すること。
- 9 私立学校（幼稚園を除く。）に関すること。
- 10 教育行政の相談に関すること。
- 11 学校を含む教育機関の設置、変更及び廃止に関すること。
- 12 通学区域の設定及び変更に関すること。
- 13 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の総括に関すること。
- 14 愛日地方教育事務協議会に関すること。
- 15 教育に係る表彰に関すること。
- 16 教育委員会の庶務に関すること。
- 17 課の庶務に関すること。
- 18 その他他の所管に属さない教育委員会の事務に関すること。

教育施設係

- 1 学校施設の整備、営繕及び維持管理に関すること。
- 2 その他教育委員会が所管する施設の営繕（軽微なものを除く。）に関すること。
- 3 教育委員会が所管する施設の整備計画に関すること。

学校教育課

学校教育係

- 1 教科書その他の教材に関すること。
- 2 学齢児童及び学齢生徒の就学並びに児童及び生徒の入学、転学及び退学に関すること。
- 3 通学路に関すること。
- 4 区域外就学及び指定校の変更に関すること。
- 5 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
- 6 児童、生徒及び教職員の保健及び安全に関すること。
- 7 その他学校教育に関すること。

学校指導係

- 1 学校の組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導に関すること。
- 2 県費負担教職員の任免、懲戒その他進退の内申に関すること。
- 3 県費負担教職員のサービスの監督及び勤務評定に関すること。
- 4 県費負担教職員の資質向上に関すること。
- 5 就学指導に関すること。
- 6 学校教育の調査研究に関すること。
- 7 その他学校指導に関すること。

庶務係

- 1 要保護及び準要保護の児童及び生徒に係る就学援助に関すること。
- 2 特別支援教育の就学奨励に関すること。
- 3 情報機器その他学校備品に関すること。
- 4 学校用務員等に関すること。
- 5 学校給食費に関すること。
- 6 学校運営協議会に関すること。
- 7 課の庶務に関すること。

教育支援センター

教育支援係

- 1 教育支援に関すること。

学校給食センター

学校給食係

- 1 給食調理に関すること。
- 2 給食の配送に関すること。
- 3 学校給食運営委員会に関すること。
- 4 学校給食センターの運営及び管理に関すること。
- 5 学校給食センターを活用した食育の推進に関すること。
- 6 学校給食物資の選定、調達及び検収に関すること。
- 7 その他学校給食に関すること。
- 8 課の庶務に関すること。

生涯学習課

生涯学習係

- 1 生涯学習の推進及び振興に関すること。
- 2 社会教育委員に関すること。
- 3 青少年及び女性活動に関すること。
- 4 社会教育関係団体の育成に関すること。
- 5 視聴覚教育に関すること。
- 6 その他生涯学習に関すること。
- 7 課の庶務に関すること。

公民館係

- 1 公民館事業の実施及び公民館活動の推進に関すること。
- 2 公民館運営審議会に関すること。
- 3 公民館施設に関すること。
- 4 その他公民館に関すること。

図書館

図書館係

- 1 図書館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
- 2 図書館協議会に関すること。
- 3 図書館活動の推進に関すること。
- 4 図書館の運営及び管理に関すること。
- 5 その他図書館に関すること。
- 6 課の庶務に関すること。

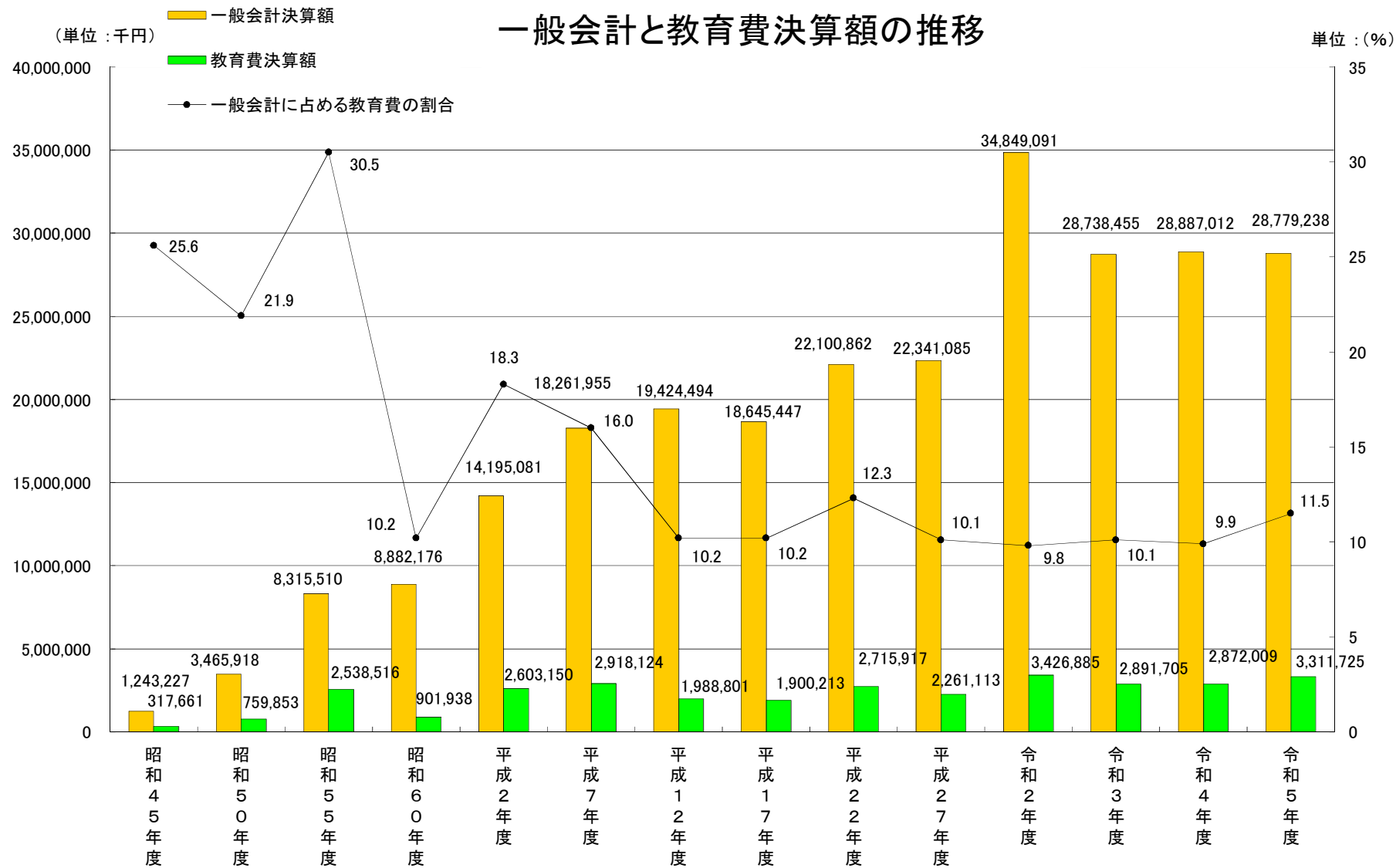
文化スポーツ課

文化振興係

- 1 文化行政の総合企画及び調整に関すること。
- 2 文化芸術の普及及び振興に関すること。
- 3 文化芸術団体の育成に関すること。
- 4 文化事業の支援に関すること。
- 5 文化会館に関すること。
- 6 どうだん亭に関すること。
- 7 文化財の保護に関すること。
- 8 文化財の調査、研究及び保存に関すること。
- 9 文化財保護審議会に関すること。
- 10 歴史民俗資料に関すること。
- 11 市誌に関すること。
- 12 その他文化振興に関すること。

スポーツ係

- 1 スポーツの普及及び振興に関すること。
- 2 スポーツ事業の計画及び実施に関すること。
- 3 スポーツ団体の育成に関すること。
- 4 スポーツ推進委員に関すること。
- 5 学校体育施設の開放に関すること。
- 6 体育施設に関すること。
- 7 その他スポーツに関すること。
- 8 課の庶務に関すること。



令和5年度決算額の状況

教育費の歳出内訳

(単位 円)

予 算 区 分	予 算 費 目	決 算 額	比 率 (%)
教育総務費	教育委員会費	2,608,250	0.1
	事務局費	612,681,324	18.5
	教育振興費	129,980,355	3.9
	計	745,269,929	22.5
小学校費	学校管理費	1,181,585,968	35.7
	教育振興費	101,978,096	3.1
	計	1,283,564,064	38.8
中学校費	学校管理費	125,042,917	3.8
	教育振興費	61,031,601	1.8
	計	186,074,518	5.6
給食センター費	給食センター費	647,782,286	19.6
	計	647,782,286	19.6
社会教育費	社会教育総務費	6,869,174	0.2
	社会教育振興費	4,972,515	0.2
	公民館費	108,751,890	3.3
	図書館費	37,775,819	1.1
	文化財保護費	11,330,601	0.3
	文化会館費	77,263,720	2.3
	計	246,963,719	7.4
保健体育費	保健体育総務費	10,451,236	0.3
	体育施設管理費	191,619,747	5.8
	計	202,070,983	6.1
総 額		3,311,725,499	100.0

一般会計の状況

歳 入

(単位 円)

区 分	決 算 額	比 率 (%)
市税	12,794,142,903	42.2
地方譲与税	191,469,000	0.6
地方交付税	2,664,719,000	8.8
国庫支出金	4,791,581,707	15.9
県支出金	1,943,918,561	6.4
分担金・負担金	47,797,182	0.2
使用料・手数料	318,810,814	1.1
諸収入	934,416,904	3.1
その他	6,543,941,293	21.6
合 計	30,230,797,364	99.9

歳 出

(単位 円)

区 分	予 算 額	比 率 (%)
議会費	236,072,165	0.8
総務費	3,862,653,049	13.5
民生費	12,141,462,208	42.2
衛生費	2,683,048,799	9.3
労働費	682,351	0.0
農林水産業費	66,801,750	0.2
商工費	525,103,578	1.8
土木費	2,805,635,871	9.8
消防費	941,108,863	3.3
教育費	3,311,725,499	11.5
災害復旧費	66,000	0.0
公債費	1,938,211,863	6.7
その他	266,666,102	0.9
合 計	28,779,238,098	100.0

令和6年度当初予算の状況

教育費の歳出内訳

(単位 千円)

予 算 区 分	予 算 費 目	予 算 額	比率(%)
教育総務費	教育委員会費	2,677	0.1
	事務局費	703,428	26.9
	教育振興費	127,007	4.9
	計	833,112	32.0
小学校費	学校管理費	293,474	11.3
	教育振興費	121,906	4.7
	計	415,380	15.9
中学校費	学校管理費	153,399	5.9
	教育振興費	78,530	3.0
	計	231,929	8.9
給食センター費	給食センター費	692,947	26.6
	計	692,947	26.6
社会教育費	社会教育総務費	8,528	0.3
	社会教育振興費	4,480	0.2
	公民館費	160,361	6.2
	図書館費	38,630	1.5
	文化財保護費	14,290	0.5
	文化会館費	92,225	3.5
	計	318,514	12.2
保健体育費	保健体育総務費	11,307	0.4
	体育施設管理費	102,384	3.9
	計	113,691	4.4
総 額		2,605,573	100.0

一般会計の状況

歳 入

(単位 千円)

区 分	予 算 額	比率(%)
市税	12,452,200	43.8
地方譲与税	193,000	0.7
地方交付税	2,860,000	10.0
国庫支出金	4,219,826	14.8
県支出金	2,152,603	7.6
分担金・負担金	48,046	0.2
使用料・手数料	322,832	1.1
諸収入	936,187	3.3
その他	5,255,306	18.5
合 計	28,440,000	100.0

歳 出

(単位 千円)

区 分	予 算 額	比率(%)
議会費	247,852	0.9
総務費	3,304,498	11.6
民生費	12,364,326	43.5
衛生費	2,672,914	9.4
労働費	746	0.0
農林水産業費	71,314	0.2
商工費	410,853	1.4
土木費	3,638,223	12.8
消防費	1,060,323	3.7
教育費	2,605,573	9.2
災害復旧費	1,100	0.0
公債費	1,956,948	6.9
その他	105,330	0.4
合 計	28,440,000	100.0

尾張旭市教育委員会のあゆみ

年月 (昭和)	ことがら	年月 (昭和)	ことがら
22年	教育基本法、学校教育法が制定され、6・3制学校制度始まる。 渋川国民学校（前身渋川学校）が渋川小学校、旭国民学校（前身魁昇学校）が旭小学校になる。	49年10月	城山公園に野球場オープン
23年	旭村立中学校開校 教育委員会法制定 町制を施行、東春日井郡旭町誕生	50年2月	城山小学校増築完成
24年	社会教育法制定	3月	第2学校給食共同調理場完成
25年	旭町社会教育委員条例制定	11月	第1回市民展を開催
27年	東栄小学校開校 東春日井郡旭町教育委員会設置 （全国すべての市町村に教育委員会が置かれる。）	12月	本地原小学校体育館完成
29年	本地原小学校開校	51年4月	東中学校開校
31年	教育委員会法が廃止され、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が制定される。	6月	東中学校体育館、プール完成
32年	旭町立公民館オープン	7月	瑞鳳小学校プール完成
33年	「棒の手」が県の無形文化財に指定	11月	白鳳小学校体育館完成
40年	本地原小学校増築完成 渋川公民館オープン 東栄小学校移転新築 （体育館・プールも完成）	52年2月	本地原小学校増築完成
41年	明るい青少年の町宣言	3月	城山小学校増築完成 「印場大塚古墳」発刊
44年	旭町役場（現市庁舎）完成	4月	教育委員会事務局に学校教育課、社会教育課を設置
45年4月	城山小学校開校	11月	瑞鳳小学校体育館完成
12月	市制を施行尾張旭市誕生	城山公園テニスコート、弓道場オープン	
46年3月	尾張旭市誌（本文編、資料編）を発刊	12月	旭小学校体育館完成
5月	東栄小学校増築完成	53年1月	市総合体育館オープン
47年4月	学校給食共同調理場完成	映画「棒の手」できる。	
6月	白鳳小学校開校	3月	「尾張旭市の古窯」発刊
7月	本地原小学校増築完成	4月	瑞鳳小学校開校
旭中学校増築完成		11月	渋川小学校プール完成
白鳳小学校、本地原小学校プール完成		12月	市内史跡めぐり開始
天狗岩古墳移築完了		54年2月	本地原小学校増築完成
12月	城山小学校増築完成	城山公園に古民家移築	
48年7月	付知峡に野外活動センターオープン	城山野球場にナイター設備を整備	
10月	旭小学校、渋川小学校が開校100年を迎える。	3月	旭小学校プール完成
49年3月	城山小学校体育館完成	4月	瑞鳳公民館オープン
6月	白鳳小学校増築完成	旭前テニスコート開場	
	旭小学校移転新築	旭丘小学校開校 （プールも完成）	
		6月	旭丘小学校体育館完成
		7月	市民プールオープン
		瑞鳳小学校増築完成	
		8月	白鳳小学校増築完成
		55年4月	西中学校開校 （体育館、プールも完成）
		渋川小学校移転新築 （体育館も完成）	
		5月	市文化協会設立
		9月	市民憲章を制定
		初の市民芸能発表大会を開催	
		12月	市制10周年記念式典
		市誌「文化財編」発刊	
		56年2月	城山小学校増築完成
		教育委員会事務局に体育課を設置	

年月 (昭和)	ことがら
56年 4月	三郷公民館オープン 市立図書館オープン
8月	聖観世音など3件を市文化財に初指定
10月	地域文化広場(文化会館、あさひのホール)オープン
57年 3月	「尾張旭の自然」発刊
4月	三郷小学校開校 (体育館も完成) 旭ヶ丘運動広場開場 藤池公民館オープン
5月	三郷小学校プール完成
6月	青少年健全育成推進会議を設立
8月	旭ヶ丘テニスコート、キャンプ場オープン
58年 3月	市指定文化財に狛犬など3件を指定 「長坂古墳群」発刊
4月	平子公民館、本地原公民館オープン
6月	夏季市民体育大会30回を数える。
8月	全国高校総合体育大会(フェンシング)を市総合体育館で開催
59年 3月	「馬の塔」発刊
7月	付知野外活動センター増築、キャンプ場移転新築
9月	中央公民館オープン
60年 3月	アフリカ難民救援活動(募金)に小、中学校も参加 「尾張旭の城館址」発刊
11月	移動図書館車「ひまわり号」巡回開始
61年 2月	市指定文化財に良福寺山門外1件を指定
4月	3中学校にクラブ用パソコンを5台ずつ配置
5月	3中学校の英会話部活動に外国人講師を派遣
62年 2月	東中学校に柔剣道場完成
4月	白鳳公民館オープン 教育委員会事務局に学校指導室を設置 学校指導室に教育相談専用回線 「こころの電話」を設置
12月	井田、晴丘テニスコートオープン
63年 3月	旭中学校に柔剣道場完成

年月 (昭和・平成)	ことがら
63年 4月	学校・市教委間にファクシミリ設置 旭丘公民館、晴丘運動広場オープン
7月	小学校全校に低学年用プール設置 本地原小学校プールへの歩道橋完成
元年 2月	全小学校にトランペット鼓隊編成
4月	西中学校に柔剣道場完成 全中学校英語授業に英会話外国人講師派遣 強化磁器食器小学校で試験導入
5月	全中学校のクラブ用パソコンを各15台に増設 旭中学校プール完成
6月	全中学校にブラスバンド編成
9月	西中学校に校庭開放夜間照明施設完成
10月	「尾張旭の地名」発刊
2年 4月	市の昔話絵本「卓ヶ洞の竜」発刊
6月	図書館の夜間、祝日開館始まる。
9月	旭中学校に校庭開放夜間照明施設完成
3年 4月	城山テニスコートに夜間照明施設完成 南グランドオープン
9月	東中学校に校庭開放夜間照明施設完成
11月	東中学校で初のコンピュータ授業開始
4年 1月	イベント形式による初の「新成人の集い」開催
4月	「尾張旭の道」、「尾張旭のため池」、「尾張旭のことば」、「尾張旭の農業歳時記」発刊
5月	市指定文化財に狩宿郷倉を指定
9月	旭中学校、西中学校にコンピュータ教室設置
5年 4月	第49回国体開催に備え教育委員会事務局に国体課を設置
8月	中学生海外派遣はじまる。
11月	第5回全国生涯学習フェスティバル見本市出展
6年 2月	三郷小学校増築完成
6月	国体馬術競技リハーサル大会を森林公園馬術場で開催
7月	小中学校プールの洗体槽を廃止し、温水シャワーを設置

年月 (平成)	ことがら
6年10月	第49回国民体育大会馬術競技会を森林公園馬術場で開催
7年2月	第1回愛知県生涯学習フェスティバル開催
3月	国体課廃止
4月	教育委員会事務局に教育研究室を設置
10月	市制25周年記念市民祭「警固」を実施
8年3月	第1回尾張旭市生涯学習フェスティバル開催
4月	渋川公民館オープン
9年9月	本地原小学校にコンピュータ教室設置
10年4月	学校指導室に適応指導教室「つくしんぼ」を設置
9月	東栄小学校、渋川小学校、白鳳小学校、旭丘小学校、三郷小学校にコンピュータ教室設置
11年1月	「成人式」を「新成人の集い」に変更し、3中学校区別で開催
4月	どうだん亭オープン
9月	旭小学校、瑞鳳小学校にコンピュータ教室設置
11月	中学校にインターネット接続 城山小学校耐震補強工事完了 城山小学校にコンピュータ教室設置
12年4月	市指定文化財に尾張旭市の馬の塔を指定 小学校に英会話外国人講師派遣 生活指導員（SA）を全小中学校に派遣
9月	給食センター食器をポリプロピレン製に変更 小学校にインターネット接続
10月	市制30周年記念市民祭「警固」を実施
13年4月	学校評議員制度全校導入
8月	移動図書館完全廃止
11月	旭丘小学校FBC（秋花壇の部）国土交通大臣賞受賞
14年4月	完全学校週5日制導入 総合的な学習の時間本格実施
10月	本地原小学校耐震補強工事完了
15年2月	渋川小学校増築完成 太陽光発電システム設置
8月	旭小学校、渋川小学校、瑞鳳小学校、旭丘小学校の体育館耐震補強工事完了

年月 (平成)	ことがら
15年10月	市指定文化財に長池のマメナシ・アイナシ自生地、吉賀池湿地を指定
11月	白鳳小学校耐震補強工事完了 体育協会創立50周年記念式典 「尾張旭の教育を考える協議会」設置
16年4月	防犯ブザーを全児童に配布 図書館 広域貸出の開始 (瀬戸市、長久手町、名古屋市守山区)
8月	「尾張旭の教育を考える協議会」答申
9月	旭中学校体育館、東中学校体育館の耐震補強工事完了 全校と教育委員会をネットワークで結ぶ「オフィス・マネージャー」の運用を開始
10月	図書館インターネット蔵書検索及び予約システムの開始 図書館閉架書庫増築工事及び耐震補強工事施行
17年1月	新成人の集い開催日を3連休の中日に変更
4月	学校生活指導補助員（SS）を全小学校に派遣
8月	総合体育館トレーニング室全面改修
9月	中学校 普通教室 扇風機設置 教職員用ノートパソコンの配備開始 旭小学校で校務支援用サーバ「エデュコムマネージャー」の運用を開始
10月	小学校区でスクールガードリーダーによる巡回指導の開始 東中学校耐震補強工事完了 市制35周年記念市民祭「警固」を実施
18年8月	中央公民館が優良公民館として文部科学大臣表彰
10月	小学校 普通教室 扇風機設置 旭小学校耐震補強工事完了 体育施設あいち共同利用型施設予約システムの開始
19年3月	総合体育館耐震補強工事完了 スポーツクラブあさびー西設立
4月	市民プール 指定管理者制度導入 文化会館 指定管理者制度導入

年月 (平成)	ことがら
19年 4 月	市指定文化財に狩宿白山神社の陶製狛犬を指定 中央公民館あいち共同利用型施設予約システムの開始
7 月	夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会
8 月	中学生海外研修に名称を変更し実施
10月	東栄小学校、瑞鳳小学校、旭丘小学校、旭中学校耐震補強工事完了
20年 3 月	尾張旭市文化振興計画を策定 白鳳小学校増築竣工
4 月	文化会館の自主文化事業を指定管理者に移行 体育施設に指定管理者制度導入（市民プール広場、平子北グラウンドを除く）
5 月	国登録文化財に「どうだん亭（旧浅井家住宅離れ）」登録
9 月	三郷小学校F B C 日本植物園協会賞受賞
10月	渋川小学校、本地原小学校、西中学校耐震補強工事完了 （全小中学校の耐震補強工事完了）
11月	尾張旭市の棒の手愛知県指定50周年記念式典
21年 2 月	図書館に朝見武彦文庫健康コーナー設置
3 月	付知野外活動センター廃止
4 月	三郷小学校F B C 日本植物園協会賞受賞
5 月	城山小学校放課後子ども教室を試行的に開始
7 月	新型インフルエンザの流行により中学生海外研修を中止
9 月	「オフィス・マネージャー」の運用を終了し「校務AssistCS」の運用を開始 三郷小学校F B C 名古屋鉄道賞受賞
10月	文化協会設立30周年記念式典 利用者が自身で貸出を行える「セルフ貸出機」導入
22年 3 月	「スポーツクラブあさびー西」の名称を「スポーツクラブあさびー」に変更
4 月	図書館広域貸出に日進市を追加
6 月	J I C A が三郷小学校を訪問

年月 (平成)	ことがら
22年 8 月 9 月	学校給食センター完成 学校給食センター稼働 給食食器を強化磁器製に変更 学校給食調理業務等民間委託開始 市制40周年記念フレンドシップ事業 （オーストラリア生徒・先生を招待） 三郷小学校F B C 中部善意銀行賞受賞 アレルギー対応給食（卵・乳）の提供開始
10月	市制40周年記念市民祭「警固」を実施 市制40周年記念「ふるさとの文化財展」を実施
23年 1 月	市制40周年記念「市民合唱団ニューイヤークンサート」・「新春かるた大会」を実施
3 月	尾張旭市誌 現代史編を発行 東日本大震災の発生を受け小中学校で募金活動を実施。日本赤十字社を通じ、2,047,256円の義援金を贈る。 放課後子ども教室事業を児童館事業へ統合
4 月	教職員の指導力向上を目的にスーパーバイザー事業を開始 尾張旭市子ども読書活動推進計画策定
9 月	東日本大震災に配慮し、あさびースマイルウォーキング大会中止 公募の講師による市民塾「あさびーなび」を公民館講座として開始
11月	三郷小学校F B C 東海テレビ賞受賞 愛知県文化協会連合会東尾張部芸能大会を文化会館で開催 あいち文化遺産保存活用推進事業「伝統文化出張講座」を旭丘小学校で開催
24年 3 月	図書館 I C タグ蔵書管理システム運用開始
6 月 (～11月)	文化会館耐震補強改修工事のため、6月19日から11月22日まで文化会館ホールを一部休館
8 月	図書館雑誌スポンサー制度開始
9 月	尾張旭市誌 現代史資料編を発行
25年 1 月	本地原小学校大規模改修工事完了

年月 (平成)	ことがら	年月 (平成・令和)	ことがら
25年 4月	勤労青少年ホームを中央公民館に 編入統合 地区公民館（市内 8 か所）で図書 館の図書返却受付開始	29年 2月	スカイワードあさひ天体観測室等 をリニューアル 旭小学校ユネスコスクールに登録 図書館館外貸出券更新開始
7月	図書館第 2・4 月曜日開館開始	3月	市立視聴覚ライブラリー廃止
9月	三郷小学校 F B C 愛知県知事賞受 賞	4月	スクールソーシャルワーカー（S S W）を各中学校区に 1 名ずつ配 置
10月	印場大塚古墳復元家屋屋根葺き替 え工事完了	9月	中学校 普通教室 空調設備整備
26年 4月	教育振興基本計画を策定 小中学校体育施設開放の有料化を 開始 地区公民館（三郷、本地原、旭丘） に市民活動課職員との併任辞令を 受けた公民館主事を配置	10月	尾張旭版コミュニティスクールの 名称を「あさひスマイルコミュニ ティー」に決定 晴丘テニスコート改修工事完了 （全面砂入り人工芝コート化） 庄中保存会から市指定文化財「円 空仏」寄贈
7月	あさひこども読書通帳を配布 卓ヶ洞 2 号、3 号、4 号窯の発掘 調査	30年 3月	瑞鳳公民館が優良公民館として文 部科学大臣表彰 平成 3 0 年 4 月小中学校入学予定 者に対して就学援助の新入学学用 品費の入学前支給を実施 井田・井田第 2 テニスコート閉鎖 学習支援事業「地域未来塾」を開 設
10月	渋川小学校 F B C 日本植物園協会 賞受賞	4月	歴史民俗フロアで市指定文化財 「円空仏」の常設展示開始 道徳の教科化（小学校） 給食センターに厨房除害処理施設 増設 残乳投入設備設置
11月	尾張旭市いじめ防止基本方針を策 定	9月	小学校（旭、渋川、瑞鳳、旭丘、 三郷）普通教室 空調設備整備 白鳳小学校大規模改修工事完了
27年 1月	城山小学校大規模改修工事完了	10月	文化会館改修工事完了
4月	教育委員会事務局教育行政課と学 校教育課を統合 私立学校修学支援事業補助金を 創設	12月	教育振興基本計画を改訂
5月	第 1 回総合教育会議開催	31年 2月	文化会館リニューアルオープン
9月	小中学校体育館非構造部材耐震化 工事完了	3月	道徳の教科化（中学校）
10月	市制 4 5 周年記念市民祭「警固」 を実施 三郷小学校 F B C 名古屋鉄道賞受 賞	4月	小学校（東栄、本地、城山、白鳳） 普通教室 空調設備整備 森林公園にて「第 7 0 回全国植樹 祭」を開催
28年 1月	市民会館閉館に伴い、新成人の集 い旭中学校区会場を旭中学校体育 館に変更	10月	三郷小学校 F B C 松坂屋名古屋店 賞受賞
2月	市民会館閉館に伴い、生涯学習課 事務室を中央公民館内に移転	2年 3月	新型コロナ感染症拡大により小中 学校臨時休業（令和 2 年 3 ～ 5 月） 学校給食飲用牛乳の容器が瓶容器 から紙容器へ変更 小学校英語の教科化 A L T 小中学校への配置拡大
3月	スカイワードあさひ天体観測室に 10cm H α 太陽専用望遠鏡を導入 中央公民館改修工事完了（会議室 等改修、展示ロビー新設等）	4月	
4月	市民会館閉館に伴い、教育研究室、 適応指導教室、少年センターが中 央公民館に移転		
7月	スクールソーシャルワーカー（S S W）を 1 名配置		
12月	東栄小学校大規模改修工事完了		

年月 (令和)	ことがら
2年4月	尾張旭市少年少女発明クラブ 発足
7月	臨時休業の影響により小中学校夏 季休業の短縮
8月	新型コロナ感染症拡大により中学 生海外研修事業中止
11月	旭中学校大規模改造工事完了 おはなし動画「あさひのむかしば なし 卓ヶ洞の竜」をインターネ ット配信開始
12月	小中学校に1人1台タブレット端 末整備
3年2月	小中学校校内通信ネットワーク整 備
3月	市制50周年・図書館開館40 周年記念講座開催
5月	小中学校において、生理用品の無 償配布を開始
8月	新型コロナ感染症拡大により中学 生海外研修事業中止
9月	乳アレルギーではないが、飲用牛 乳を摂取すると体調不良等を引き 起こす児童生徒に対して、調製豆 乳を代替食として提供開始
10月	保護者連絡システムの導入 図書館の新聞・官報データベー ス閲覧サービス、在館予約サー ビス開始 文化会館ライブビューイングシ ステム整備 小学校運動会の実施日を学校ごと に変更
11月	学校給食費の市直接徴収開始
4年1月	中央公民館及び地区公民館高速通 信ネットワーク整備
2月	国の登録有形文化財に三宅家住宅 の登録
3月	旭小学校校舎増築完成 西中学校校舎増築完成 尾張旭市子ども読書活動推進計 画（改訂2版）策定
4月	全小中学校に学校運営協議会を設 置

年月 (令和)	ことがら
4年4月	新制服導入（東中学校） コミュニティセンター宮浦会館を 教育委員会へ移管し、宮浦公民館 に名称変更
6月	おはなし動画「あさひのむかしば なし 卓ヶ洞の竜」のDVDを作 成
8月	新型コロナ感染症拡大により中学 生海外研修事業中止
10月	中学校特別教室（東、西）空調設 備整備
12月	物価高騰対策として小中学生世帯 支援事業において「おこめ券」を 配布 「あさひのむかしばなし 卓ヶ洞 の竜」のデジタル化 マメナシイメージキャラクター 「マメナッシー」作成
5年1月	「新成人の集い」を「二十歳（は たち）の集い」に変更
3月	中学生海外研修事業オンライン交 流会実施
4月	新制服導入（旭中学校・西中学校） 小学校運動部活動の廃止 旭中学校に校内教育支援ルーム （Aiルーム）を設置 国立国会図書館デジタル化資料送 信サービス開始
5月	小学校水泳授業の民間委託の実施 （旭、本地原） 学習支援事業「地域未来塾」の2 か所目となる西部地区を増設
7月	総合体育館空調設備整備
8月	新型コロナ感染症拡大により中学 生海外研修事業中止 中学生海外研修事業オンライン交 流会実施
10月	全小学校特別教室空調設備整備 小中学校にラーケーションの日を 導入
11月	県民の日学校ホリデー 県民の日学校ホリデーイベント開 催 図書館参考室に多目的個別ブース を導入
12月	スマートフォンでの館外貸出券表 示機能追加
6年2月	第2次教育振興基本計画を策定

年月 (令和)	ことがら
6年4月	教育支援センター開設 (適応指導教室の名称廃止) 中学校にて採点支援システム運用 開始 小学校水泳授業の民間委託の実施 校追加(渋川、城山、白鳳、瑞鳳) 東中学校に校内教育支援ルー ム (B e ルー ム) を 設 置
7月	アイナシイメージキャラクター 「アイナッシー」作成
8月	中学生海外研修事業再開
10月	平子公民館・児童館外壁改修工事 完了

教育委員会の施策

本市では、昭和48年度に第一次計画となる「尾張旭市総合計画」を策定し、これまで第五次に至るまで改訂を重ね、まちづくりを進めてきた。現在は、令和6年度からを計画期間とする「第六次総合計画」に基づき、まちづくりを進めている。

教育委員会では、第六次総合計画を上位計画とする教育分野における、より具体化した計画として、「第2次尾張旭市教育振興基本計画」を策定し、教育の振興を図ることとする。

1 本市の教育理念

尾張旭市が今後進めるべき教育分野の方向を明らかにするため、次のとおり本市の教育理念を掲げます。

〈尾張旭市の教育理念〉
つながり合い 伸びる 尾張旭の教育
～ こどもから大人へ 家庭から社会へ ～

● つながり合い 伸びる

幼年期から老年期までの各ライフステージを通して学びの機会を提供していくという縦軸の取り組みと、多様な課題に対応できるよう社会全体で学びの場を提供していくという横軸の取組とが、有機的につながり、連携、協力の中で本市の教育をさらに高めていき、誰一人取り残されることなく、みんなが幸せを感じられることを表しています。

● こどもから大人へ

人は、こどもから人生をスタートさせます。持続可能な社会づくりが求められる時代においては、学校段階はもとより、生涯を通じて自らを磨き、高めていくことが重要であり、教育デジタルトランスフォーメーションの推進などにより、それぞれのライフステージに応じた学びを継続していくことが求められます。

その中で、主体的に学び、広い視野や深い見識を持ち、ふるさと尾張旭に誇りや愛着を持った自ら人生を切り拓く大人に成長していくことを表しています。

● 家庭から社会へ

教育は、社会全体の根や幹となる部分であり、その始まりは家庭での教育です。家庭での教育を生かしつつ、家庭環境によらず、教育を、より深く、より広がりのあるものとし、地域、学校、団体、企業や行政などの教育を担う主体が、連携・協働していくことが必要です。

結びを「社会へ」としたのは、目指すところを単なる自己実現に留まらず、その培った知識、技能、経験などを生かし、社会の担い手となり、共に学び支え合う社会の実現に向け、歩み続けていくことを表しています。

2 本市教育の目指す人間像

尾張旭市では、昭和55年に市民の願いを込めて「尾張旭市民憲章」を定めました。その中では、自然への愛情や郷土への思いを述べるほか、教養、文化の向上や勤労の喜び、規律を重んじる一方で、安らぎの家庭や心かようまちの実現を希求しています。

今も変わらないこの思いを参酌し、1で掲げた教育理念のもと、次のような人間像を目指します。

● 命を大切にし、多様性を認め合うことができる人

何よりも大切な自己や他者の命を尊重し、高い倫理観を持ち、多様な個性・能力を互いに認め合いながら、生きるために必要な力を、主体的に身に付けた人となることを目指します。

● 自ら学び、他者とつながることができる人

自ら主体的・継続的に学び続けるとともに、社会の一員として、家庭、地域、学校、団体、企業などの方々と関わり合い、つながることができる人となることを目指します。

● ふるさと尾張旭を愛し、自分らしさを発揮し社会を担うことができる人

本市に関わる人たちが、「ふるさと尾張旭」に愛着をもち、地域における様々な活動を通して、自らが学んできた知識、技能、経験などの自分らしさを認め、発揮し、社会を担うことができる人となることを目指します。

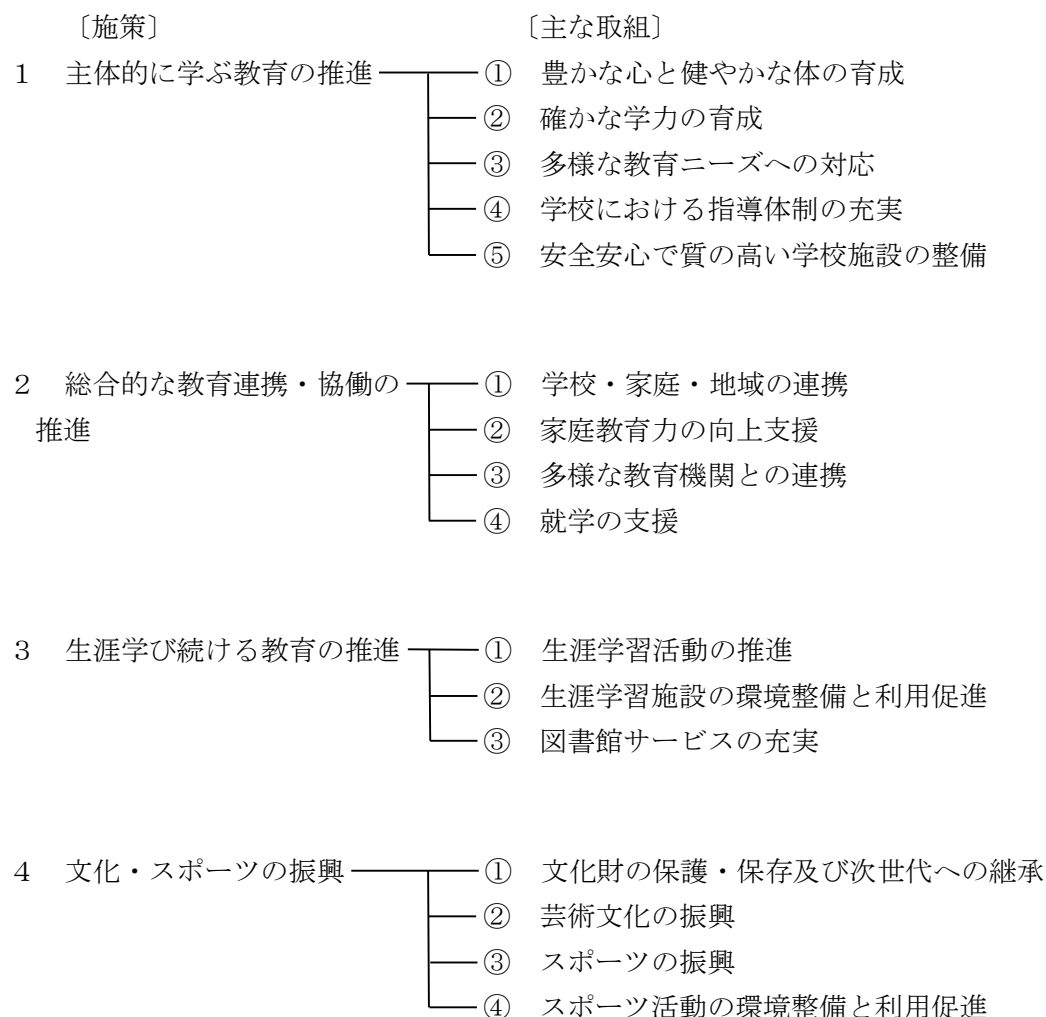
3 根幹にある考え方

「教育」は、社会全体の根や幹となる揺るぎないものであるとともに、新しい時代の要請や教育を取り巻く環境変化を適切に踏まえ、教育理念の実現に向け、歩を進めていかなければなりません。その中で、家庭環境や社会的に困難を抱えた方にとっても幸せを感じられる、『誰一人取り残されない教育』を目指します。

4 施策の体系

本計画では、第六次総合計画の施策の体系と整合を図り、学校教育、教育連携、生涯学習、文化・スポーツの「施策」を定めます。

また、それぞれの施策を達成するための具体的手段として、「主な取組」を定め、それぞれの取組を着実に実施することで、教育理念の達成や目指す人間像の実現を目指します。



学 校 教 育

学校支援

小中学校の教育活動を支援するため、教職員の研修、教育関係資料の収集や調査研究と情報提供及び教育相談と相談に係る関係機関との連携並びに各種支援に取り組んでいる。

1 教職員の研修

- (1) 現職研修事業の企画・運営及び支援
- (2) 教育関係図書等、教育資料の収集整備及び情報の提供

2 調査研究

- (1) いじめ・不登校や問題行動を含む教育の諸課題についての調査統計
- (2) 調査統計の分析結果等に基づく情報提供と学校教育への提言

3 教育相談（学校教育全般に係る相談）

- (1) 教育支援員による相談
保護者、教職員を対象
- (2) 心のアドバイザーによる相談（臨床心理、発達心理、特別支援教育）
ア 児童生徒、保護者、教職員を対象
イ 学校巡回及び中央公民館内相談室において相談を実施
- (3) 心の教室相談員による相談
ア 児童生徒、保護者、教職員を対象
イ 児童生徒の話し相手や悩み相談に助言し、児童生徒の健全育成を図る
- (4) スクールソーシャルワーカーによる相談
ア 児童生徒、保護者、教職員を対象
イ 関係機関と連携し、いじめ・不登校等の問題の改善・解決を図る
- (5) 関係機関との連携
ア 教育支援ルーム「つくしんぼ」、子育て相談課、こどもの発達センター、健康課、少年センターとの連携
イ いじめ・不登校対策委員会、特別支援学級交流会運営委員会、生徒指導主事主任会、中学校生徒指導連絡会等との連携
ウ 県派遣小中学校カウンセラー、心の教室相談員（小中学校）、スクールソーシャルワーカー等相談担当者等との連携

4 地域学校支援のコーディネート

- (1) 地域学校支援ボランティアの人材データベース整備
- (2) 出前授業、ゲストティーチャー、講演会講師等のデータベース整備
- (3) 地域学校支援の情報提供及び渉外
- (4) 学校運営協議会を設置（令和4年度）
地域住民の学校教育への参画を推進し、協働して子どもたちの成長を支え、地域とともにある学校づくりを各小中学校区で進めている。

5 啓発情報の発信

教育支援センターだより「爽風」の発行

特別支援教育

1 教育支援

教育支援委員会を設置し、障がいのある児童生徒で教育上特別な支援を要する者の適正な就学等の教育支援を図っている。

昭和61・62年度の2年間にわたり特殊教育推進地区の指定を愛知県教育委員会から受け、「あたたかいまなざし、ともに生きる心」をテーマに研究を行った。

この研究の趣旨を持続させ、健康都市として、障がいのある人やその家族を孤立させることなく、市民全体の力で地域として温かく支えていくよう努めている。

2 特別支援学級

全小中学校に知的障がい学級と自閉症・情緒障がい学級を設置。東栄小学校、本地原小学校、旭丘小学校に肢体不自由学級を設置。瑞鳳小学校に病弱・身体虚弱学級を設置している（令和5年度計36学級）。

(1) 知的障がい学級

知的発達に遅れのある児童生徒に、少人数の集団の中で個に応じた指導を進め、基本的生活習慣や基礎的な学力、集団生活に参加していく力を育てている。

(2) 自閉症・情緒障がい学級

情緒障がい等のため社会的適応が困難な児童生徒に対して、集団指導及び個別指導を行い、基本的生活習慣の育成、遊びや対人関係、コミュニケーション等社会的適応力の育成を図っている。障がいの状態は様々であるが、主として自閉的傾向が強い児童生徒によって編制されている。

(3) 弱視学級

視力が弱いために黒板の字が見えなかったり、教科書の文章が読みにくかったりする弱視の児童のため、平成29年度から令和4年度まで東栄小学校に設置していた。目と手の供応作用の向上を図った実習や、拡大した資料や補助具を使った見方・書き方の技術向上を図っている。

(4) 肢体不自由学級

肢体不自由のある児童生徒のため、令和元年度に東栄小学校と旭丘小学校に設置し、令和2年度に本地原小学校に設置。自立活動の指導においては、身体の動きの改善を図ることやコミュニケーションの力を育てる指導などを行っている。

(5) 病弱・身体虚弱学級

慢性の呼吸器疾患や腎臓疾患等の状態が継続して医療等の特別な配慮が必要な児童生徒のため、令和3年度に瑞鳳小学校に設置。生活規制等のため、通常の子どもと常時一緒に活動することは難しいが、多くの友達と関わる機会をもつことは大切であるため、病気の状態等を考慮しながら、可能な範囲で通常の学級の子どもと活動を共にする機会を積極的に設けている。

3 通級指導教室

通常学級に在籍する発達障がい等特別な支援を必要とする児童に対して、通級による個別の指導を実施している。本市では、11名の指導教員が全小中学校で通級による指導を行っている。

4 特別支援学級交流事業

平成元年度から特別支援学級担当の教員を中心とした「特別支援学級交流会運営委員会」を設置し、小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒を対象とした歓迎会、ボッチャ交流会、送る会等の当該児童生徒の社会性や自己表現等の力を伸ばす楽しい行事を実施している。

5 肢体不自由児の受け入れ拠点校

平成17年度に東栄小学校、平成22年度に東中学校を肢体不自由児の受け入れ拠点校として学校内の設備の整備を行った。児童生徒が障がいの有無に関わらず、一人ひとりのよさや違いを認め合い、共に生きる学校づくりを進めることで、豊かな心の育成を目指している。

6 医療的ケア支援事業

令和2年度から医療的ケアを必要とする児童生徒に対し、自立の促進、健康の維持・増進及び安全な学習環境の整備を図るために、看護師による医療的ケアを実施している。

就学奨励

1 要保護・準要保護児童生徒援助

経済的な理由によって就学が困難な児童生徒の保護者に学用品費、給食費等の援助を行っている。

▼年間1人当たりの援助費

▼補助対象費	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学用品費等	小学校	1年	11,520円	11,630円	11,630円	11,630円
		2～6年	13,770円	13,900円	13,900円	13,900円
	中学校	1年	22,510円	22,730円	22,730円	22,730円
		2・3年	24,760円	25,000円	25,000円	25,000円
校外活動費 (宿泊を伴わない)	小学校	実費(限度額1,580円)	実費(限度額1,600円)	実費(限度額1,600円)	実費(限度額1,600円)	実費(限度額1,600円)
	中学校	実費(限度額2,290円)	実費(限度額2,310円)	実費(限度額2,310円)	実費(限度額2,310円)	実費(限度額2,310円)
校外活動費 (宿泊を伴う)	小学校5年生	実費	実費	実費	実費	実費
	中学校2年生	実費	実費	実費	実費	実費
修学旅行費	小学校6年生	実費	実費	実費	実費	実費
	中学校3年生	実費	実費	実費	実費	実費
新入学学用品費	小学校	50,600円	51,060円	51,060円	54,060円	54,060円
	中学校	57,400円	60,000円	60,000円	60,000円	63,000円
学校給食費	小学校	実費250円×食数	実費250円×食数	実費250円×食数	実費250円×食数	現物給付
	中学校	実費280円×食数	実費280円×食数	実費280円×食数	実費280円×食数	現物給付
医療費	小・中	特定疾病の自己負担分	特定疾病の自己負担分	特定疾病の自己負担分	特定疾病の自己負担分	特定疾病の自己負担分
通学費	小・中	実費	実費	実費	実費	実費
オンライン学習通信費	小・中			上限12,000円 (月額1,000円)	上限14,000円	上限14,000円

▼要保護・準要保護児童生徒援助費の推移

区		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	要 保 護 (人)	8	5	3	2	3
	準要保護(人)	451	459	463	438	408
	入学前支給(人)	49	43	34	48	39
	支給額(千円)	31,889	26,843	33,938	36,752	34,989
中学校	要 保 護 (人)	5	4	0	1	3
	準要保護(人)	304	344	304	284	263
	入学前支給(人)	103	77	73	83	63
	支給額(千円)	31,625	29,836	31,049	34,270	30,827

※中学校入学前支給者は小学校準要保護者に含まれる。

2 特別支援教育就学奨励

特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に、保護者の負担能力に応じ上記の要保護・準要保護児童生徒援助の2分の1の額の援助を行っている。

▼特別支援教育就学奨励の推移

区	分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	受給者数(人)	40	36	34	40	50
	支給額(千円)	1,104	1,212	1,596	1,702	1,942
中学校	受給者数(人)	16	14	15	9	11
	支給額(千円)	482	630	932	596	637

3 私立学校修学支援事業補助

私立学校（私立の小学校、中学校、中等教育学校、高等学校、高等学校（通信制：名古屋たちばな高等学校、愛知産業大学三河高等学校、中京大学附属中京高等学校、菊華高等学校、ルネサンス豊田高等学校）及び専修学校）に在籍する者の保護者等に対して教育に係る経済的負担の軽減を図り、また教育の機会均等の原則の確保や、併せて私立学校教育の振興に寄与することを目的に補助事業を実施している。

▼私立学校修学支援事業補助金の推移

区	分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	児童数(人)	3	3	1	0	1
	支給額(千円)	53	53	15	0	15
中学校	生徒数(人)	31	31	33	38	35
	支給額(千円)	513	513	562	620	554
高等学校等	生徒数(人)	438	438	462	496	546
	支給額(千円)	7,171	7,171	7,550	8,017	8,934

※1人年額12,000円～18,000円（5,000円加算あり）

4 地域未来塾開催事業

中学生・高校生の学習意欲の充実及び向上に加え、子どもの居場所づくりを図ることを目的として、2カ所にて事業を委託し実施している。

▼東部地区の参加推移（令和2年7月から開催）

区	分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数(回)		35	48	48	48
延べ生徒数(人)		1,066	1,272	1,357	1,684

▼西部地区の参加推移（令和5年5月から開催）

区	分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数(回)		—	—	—	45
延べ生徒数(人)		—	—	—	697

学校保健

1 児童生徒等の健康管理

児童生徒及び教職員の健康保持と健康増進を図る学校保健は、学校教育の円滑な運営の基礎であり、学校における保健教育と保健管理の充実によって達成されるものである。

本市では、児童生徒及び教職員の健康診断の実施、感染症の予防、学校の環境衛生等の専門的事項についての指導と助言を受けるために、各小中学校に内科医、耳鼻科医、眼科医を学校医、歯科医を学校歯科医、薬剤師を学校薬剤師として委嘱している。また、健康診断に係る諸検査については、検査機関に委託し、小学校1・4年生、中学校1年生を対象に実施する心電図検査では、病気の早期発見及び有所見者への指導を行い、健康管理に努めている。

2 医療費等の給付

学校管理下における児童生徒の災害に係る医療費等の給付を目的として、独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入しており、掛金（1人当たり935円）については市が全額負担している。

▼災害共済給付制度利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
共済掛金	6,706,590円	6,716,655円	6,626,620円	6,576,955円	6,476,910円
件数	653件	533件	609件	659件	688件
給付金	1,335,264円	1,614,660円	1,512,154円	1,529,344円	1,448,571円

いじめ・不登校対策

いじめ問題に対応するため、各小中学校では、校内に「いじめ・不登校対策委員会」を設置し、実態の把握と実情に応じた対応をしている。

教育委員会では、昭和62年度に「いじめに関する手引き」を発刊するとともに、市内の実態把握と各校の情報交換に努めてきた。平成4年度から「人権教育講習会」、平成8年度からは「カウンセリング講習会」を、さらに平成11年度からは「いじめ・不登校講演会」、令和3年度からは「教育講演会」と改称し、教員の研修に努めている。平成25年度からは、いじめ、不登校など対人関係に関する問題への対策として、生徒個々の傾向を的確に捉え、適切な指導を行うための基礎資料とするため、中学生を対象に心の発達サポート検査を実施している。平成26年度には、いじめ防止対策推進法の制定に伴い、尾張旭市いじめ防止基本方針を策定し、尾張旭市いじめ問題専門委員会、尾張旭市いじめ問題対策連絡協議会を設置した。

また、令和6年度からは教育支援センターを設置し、教職員と児童生徒、保護者及び学校と地域の信頼関係をさらに強める手立てや校内指導体制の確立に重点をおくとともに、県教育委員会発行の「小さなサインが見えますか」を始め各種の手引きの活用、教育相談事業、教育支援ルーム「つくしんぼ」の充実、メンタルフレンドの派遣等を進め、関係機関との連携を密にし、本市児童生徒の「豊かな心の成長」を目指して活動を推し進めている。

1 尾張旭市いじめ問題対策連絡協議会、尾張旭市いじめ問題専門委員会

平成26年度に尾張旭市いじめ対策連絡協議会等条例を制定し、いじめ問題に関係する行政機関等の連携を図るため、尾張旭市いじめ問題対策連絡協議会を設置した。また、いじめ問題に関わる調査研究や対策協議、いじめの重大事態が発生した場合の調査を行うための組織として、尾張旭市いじめ問題専門委員会を設置した。

2 いじめ・不登校対策委員会

平成2年度に「登校拒否対策事業実施市町村」の一つとして、愛知県教育委員会から研究指定を受け、以後3年間にわたって不登校の解消を目指し、研究実践を積み重ね、平成5年度に「登校拒否児童生徒対策委員会」を設置した。さらに、全国で「いじめによる自殺」が続発する状況を受け、平成8年度からは「いじめ・不登校対策委員会」に組織を改め、児童生徒が「いじめ」や「不登校」などを克服し、「豊かな人間関係を持つ健全な社会人の育成を促す指導・支援」の充実を図ることを目的とし、対策に取り組んでいる。

3 いじめ・不登校に係る取り組み

(1) 実態の把握及び指導についての研究

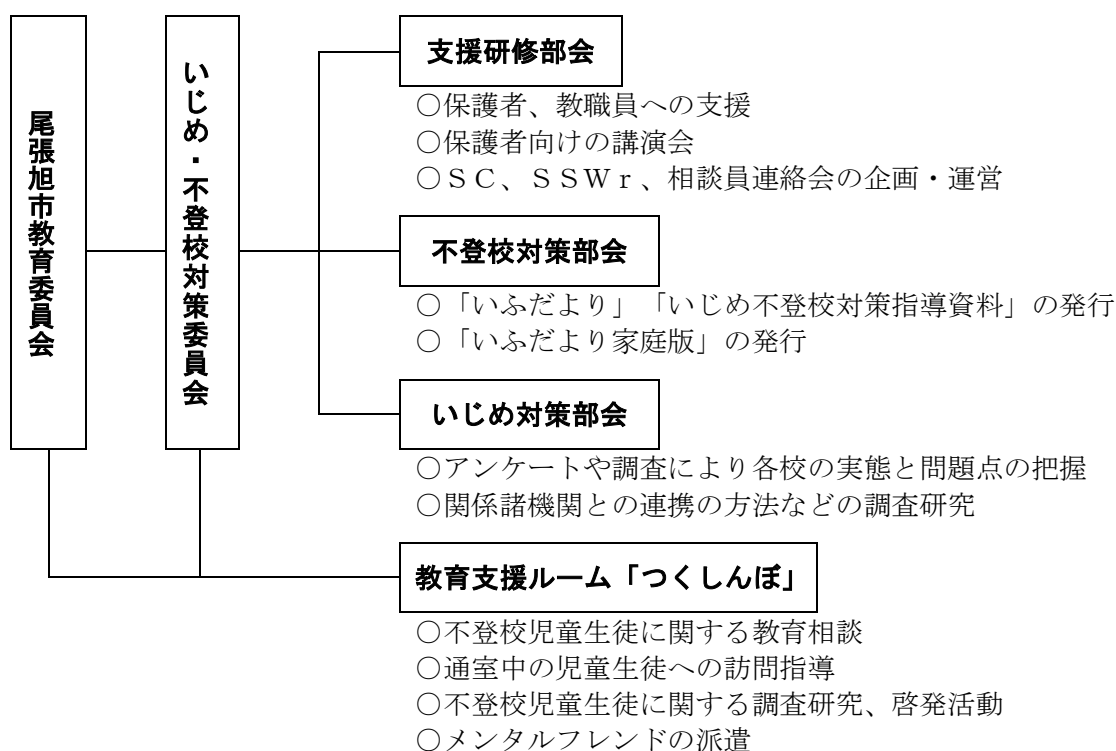
- (2) 保護者、教職員への啓発及び相談・支援活動
- (3) 指導、支援に役立つ情報の収集及び提供
- (4) いじめ実態アンケートの実施
- (5) 中1ギャップについての調査研究
- (6) 心の発達サポート検査
- (7) 不登校の児童生徒を持つ保護者懇談会「☆手と手と手☆」の開催
- (8) 校内教育支援ルーム（旭中：A i ルーム、東中：B e ルーム）の設置

4 教育支援ルーム「つくしんぼ」

心理的・情緒的な理由による不登校児童生徒を対象に集団生活への適応を促すため平成10年度に設置した適応指導教室「つくしんぼ」を、令和6年度に教育支援ルーム「つくしんぼ」に改め、不登校児童生徒の「学校へ行かない」という意思や「学校へ行けない」という思いに対して、「居場所」の選択肢を増やし、社会的自立につながることを目的としている。

- (1) キャンプ、ミニ運動会、調理実習、社会見学、書き初め等可能な限り学校で実施している行事と同様の内容で実施している。
- (2) ピアノ音楽体験（「情操教育事業」）や各ボランティアによる体験活動の実施
- (3) 出前授業の実施（教育委員会が委嘱している教科等研究員による出前授業）

▼いじめ・不登校対策委員会等組織図



▼ 不登校児童生徒数の推移

	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	小	中	計	小	中	計	小	中	計	小	中	計	小	中	計
実数 (人)	38	85	123	46	96	142	55	119	174	95	137	232	131	160	291
全児童生徒 に対する割合 (%)	0.8	3.6	1.7	1.0	4.0	2.0	1.2	5.0	2.5	2.0	5.8	3.3	2.8	6.9	4.2

※不登校による年間30日以上欠席者数

その他の取り組み

1 中学生海外研修事業（平成5年度から実施）

国際理解教育の一環として、外国の自然・文化に直接触れ、一般家庭でのホームステイを体験することにより、世界の中の日本人としての自覚を深め、国際的視野を身につけることを目的にしている。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により昨年に続き事業を中止した。

（生徒に国際交流の機会を創出し、長年の訪問先である現地校との交流を継続するため、代替事業として、令和5年の8月にオンライン交流会を実施した。）

令和6年度は5年ぶりに、オーストラリアのウィットルシー・セカンダリーカレッジに8月21日から8月30日の10日間で、研修事業を再開した。現地校との交流を継続するため、令和7年2月にオンライン交流会を実施予定。

2 小中学校外国語授業へのALT派遣

小学校の外国語（英語）の授業・外国語活動の時間及び、中学校の外国語（英語）の授業にALTを派遣している。担当教員とのTT（ティームティーチング）により、英語でのコミュニケーション能力の向上を目指している。

3 特色ある学校づくり

児童生徒の生きる力を育み、優れた個性を伸ばす教育を行うために、児童生徒や地域社会の実態を踏まえ、各学校が創意工夫を生かし積極的に「特色ある学校づくり」に取り組んでいる。

▼ 令和5年度 特色ある学校づくり

学 校 名	特 色
旭 小 学 校	「にじの森」「学習園」を活用した感性の育成
東 栄 小 学 校	違いを認めてともに生きる
渋 川 小 学 校	打ち囃子 ー地域の方々との交流を通して、伝統文化に親しむー
本 地 原 小 学 校	他者と関わりながらよりよく生きる子を育てる教育活動 ～明るく 正しく のびのびと 本地ヶ原の本地っ子～
城 山 小 学 校	地域（町・学校・人・自然・文化）とのふれあいの中で思いやりの心を育む
白 鳳 小 学 校	地域を知り、地域に学び、地域と共に歩む
瑞 鳳 小 学 校	「人」「もの」「こと」と関わり合う、心の教育
旭 丘 小 学 校	豊かな心をもつ旭丘の子
三 郷 小 学 校	健康教育
旭 中 学 校	豊かなキャリア観の育成
東 中 学 校	「自分をつくる」キャリア教育の推進
西 中 学 校	「いのち」と真剣に向き合う地域社会の一員として自立した、生きる力を育む教育活動

学校施設の大型工事

施設の老朽化が著しい本市では、学校施設の安全安心を第一優先として位置付け、質的な改善など施設整備における改善を一気に推し進めることができる、大規模改造工事を計画的に実施している。また、学校を取り巻く社会情勢の変化に伴い、空調設備の整備やトイレの洋式化も同時に推し進めている。

▼大規模改造工事一覧

平成23、24年度	本地原小学校
平成25、26年度	城山小学校
平成27、28年度	東栄小学校
平成29、30年度	白鳳小学校
令和元、2年度	旭中学校

▼空調設備整備一覧

	(普通教室)	(特別教室)
平成29年度	旭中学校 東中学校 西中学校	
平成30年度	旭小学校 渋川小学校 瑞鳳小学校 旭丘小学校 三郷小学校	
令和元年度	東栄小学校 本地原小学校 城山小学校 白鳳小学校	
令和2年度		旭中学校
令和4年度		東中学校 西中学校
令和5年度		旭小学校 東栄小学校 渋川小学校 本地原小学校 城山小学校 白鳳小学校 瑞鳳小学校 旭丘小学校 三郷小学校

▼トイレ改修（全面）一覧

平成12、13年度	本地原小学校 城山小学校
平成16、17年度	旭中学校
平成21、22年度	東中学校
平成25、26年度	東栄小学校
平成29、30年度	白鳳小学校 旭丘小学校
令和元、2年度	渋川小学校 旭中学校
令和3、4年度	西中学校
令和4、5年度	旭小学校、瑞鳳小学校 三郷小学校
令和5、6年度	本地原小学校 城山小学校

▼増築工事一覧

令和3年度	旭小学校 西中学校
-------	-----------

義務教育施設の状況

▼ 小学校

学 校 名	児 童 数	学 級 数 (特別支援学級を含む)	校 地 面 積			校 舎 面 積		屋内運動場面積	
			建物敷地	運動場	合 計	保有面積	必要面積	保有面積	必要面積
	人		m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
旭 小 学 校	551	22	10,920	9,889	20,809	4,942	5,488	646	1,215
東 栄 小 学 校	499	22	8,494	12,121	20,615	5,299	5,672	605	1,215
渋 川 小 学 校	310	14	12,949	8,438	21,387	4,656	4,217	663	919
本地原小学校	538	21	7,685	7,460	15,145	5,155	5,488	630	1,215
城 山 小 学 校	628	23	6,195	11,402	17,597	5,504	5,682	630	1,215
白 鳳 小 学 校	641	25	7,498	9,194	16,692	5,313	6,023	645	1,215
瑞 鳳 小 学 校	347	15	8,527	10,488	19,015	5,022	4,385	646	919
旭 丘 小 学 校	580	23	9,538	7,979	17,517	4,915	5,672	647	1,215
三 郷 小 学 校	506	21	7,701	10,197	17,898	5,088	5,504	667	1,215
合 計	4,600	186	79,507	87,168	166,675	45,894	48,131	5,779	10,343

▼ 中学校

学 校 名	生 徒 数	学 級 数 (特別支援学級を含む)	校 地 面 積			校 舎 面 積		屋内運動場面積	
			建物敷地	運動場	合 計	保有面積	必要面積	保有面積	必要面積
	人		m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
旭 中 学 校	823	25	9,730	20,705	30,435	7,860	7,243	1,494	1,476
東 中 学 校	771	24	9,914	18,498	28,412	7,071	7,026	1,395	1,476
西 中 学 校	667	21	14,325	14,198	28,523	6,853	6,641	1,399	1,476
合 計	2,261	70	33,969	53,401	87,370	21,784	20,910	4,288	4,428

▼ 小学校

学 校 名	普通 教室	特別 教室	特別教室の内訳											その 他
			理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	外国 語	視聴 覚	コンピ ュータ	図書 室	特別 活動	教育 相談	
旭 小 学 校	22	10	1	1	1	1	1			1	2	1	1	2
東 栄 小 学 校	22	12	1		1	1	2			1	1	4	1	2
渋 川 小 学 校	14	12	1		2	1	1			1	1	4	1	1
本地原小学校	21	16	1		2	1	1			1	2	7	1	0
城 山 小 学 校	23	13	1	1	1	1	1			1	2	4	1	3
白 鳳 小 学 校	25	10	1		1	1	1				2	2	2	2
瑞 鳳 小 学 校	15	16	1	1	1	1	2			1	2	6	1	3
旭 丘 小 学 校	23	11	1		1	1	1				2	4	1	0
三 郷 小 学 校	21	13	1	1	2	1	1			1	2	3	1	1
合 計	186	113	9	4	12	9	11	0	0	7	16	35	10	14

▼ 中学校

学 校 名	普通 教室	特別 教室	特 別 教 室 の 内 訳												その 他
			理科	音楽	美術	技術	家庭	外国 語	視聴 覚	コンピ ュータ	図書 室	特別 活動	教育 相談	進路 指導	
旭 中 学 校	25	24	2	2	2	1	2			※	1	8	5	1	3
東 中 学 校	24	19	3	2	2	2	2			1	1	4	1	1	2
西 中 学 校	21	20	2	2	1	2	2			1	1	6	2	1	0
合 計	70	63	7	6	5	5	6			2	3	18	8	3	5

※ 旭中学校では、コンピュータ室と図書室を一つの空間にした特別教室(メディアルーム)として運用しています。

児童生徒数・学級数等の状況

(令和6年度)

▼小学校

学 校 名	児童数	学 級 数	左 の う ち 特 別 支 援 学 級 数	教 員	栄 養 職 員 (栄 養 教 諭)	事 務 職 員
旭 小 学 校	人 551	22	4	人 29	人	人 1
東 栄 小 学 校	499	22	4	32		1
渋 川 小 学 校	310	14	2	20		1
本 地 原 小 学 校	538	21	4	29		1
城 山 小 学 校	628	23	2	30	1	1
白 鳳 小 学 校	643	25	3	32	1	1
瑞 鳳 小 学 校	347	15	3	23	1	1
旭 丘 小 学 校	580	23	4	31		1
三 郷 小 学 校	506	21	3	27		1
計	4,602	186	29	253	3	9

(産休・育休代替・期限付講師を含む・非常勤講師は含まない)

▼中学校

学 校 名	生徒数	学 級 数	左 の う ち 特 別 支 援 学 級 数	教 員	栄 養 職 員 (栄 養 教 諭)	事 務 職 員
旭 中 学 校	人 823	25	3	人 46	人	人 2
東 中 学 校	771	24	3	44		2
西 中 学 校	667	21	2	41		2
計	2,261	70	8	131	0	6

(産休・育休代替・期限付講師を含む・非常勤講師は含まない)

中学校卒業後の進路

区 分		計	比率(%)
卒 業 者 総 数		人 784	100.0
高 等 学 校	全 日 制	703	89.7
	定 時 制	6	0.8
	通 信 制	62	7.9
高 等 専 門 学 校		3	0.4
特 別 支 援 学 校 高 等 部		6	0.8
専 修 学 校 、 各 種 学 校		0	0.0
就 職 者 (定 時 制 除 く)		0	0.0
そ の 他		4	0.5

高等学校進学率の推移

卒 業 年	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
卒 業 者 総 数 (人)	778	798	785	803	784
進 学 者 数 (人)	774	772	771	791	780
進 学 率 (%)	99.5	96.7	98.2	98.5	99.5

児童生徒数の推移

▼小学校

(各年5月1日現在)

学 校 名		平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
旭 小 学 校	児童数 (人)	484	485	491	483	433	435	460	489	515	551
	学級数 (CL)	15	15	16	17	16	15	16	18	20	22
東 栄 小 学 校	児童数 (人)	555	573	581	598	542	526	516	525	494	499
	学級数 (CL)	17	19	21	22	19	21	21	22	22	22
渋 川 小 学 校	児童数 (人)	136	211	358	493	413	365	343	333	319	310
	学級数 (CL)	9	8	15	18	15	14	14	14	14	14
本地原小学校	児童数 (人)	642	619	643	722	704	600	575	554	550	538
	学級数 (CL)	19	19	20	23	23	21	21	21	20	21
城 山 小 学 校	児童数 (人)	668	559	584	702	708	678	670	660	662	628
	学級数 (CL)	19	19	20	22	22	23	23	24	23	23
白 鳳 小 学 校	児童数 (人)	443	471	599	679	653	667	656	643	632	643
	学級数 (CL)	13	14	21	23	21	23	23	24	24	25
瑞 鳳 小 学 校	児童数 (人)	423	440	437	364	416	413	390	378	365	347
	学級数 (CL)	13	13	15	14	15	15	15	15	15	15
旭 丘 小 学 校	児童数 (人)	536	498	496	555	559	598	592	584	582	580
	学級数 (CL)	17	17	16	20	19	21	21	21	23	23
三 郷 小 学 校	児童数 (人)	695	669	659	578	481	521	513	520	504	506
	学級数 (CL)	22	21	21	20	17	20	20	21	21	21
合 計	児童数 (人)	4,582	4,525	4,848	5,174	4,909	4,803	4,715	4,686	4,623	4,602
	学級数 (CL)	144	145	165	179	167	173	174	180	182	186

▼中学校

(各年5月1日現在)

学 校 名		平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
旭 中 学 校	生徒数 (人)	939	850	760	781	961	904	865	859	810	823
	学級数 (CL)	25	23	21	24	28	28	27	26	25	25
東 中 学 校	生徒数 (人)	899	871	831	798	812	753	793	762	797	771
	学級数 (CL)	25	24	24	25	25	23	25	24	25	24
西 中 学 校	生徒数 (人)	539	499	551	656	706	733	719	730	699	667
	学級数 (CL)	17	16	17	20	22	23	22	22	22	21
合 計	生徒数 (人)	2,377	2,220	2,142	2,235	2,479	2,390	2,377	2,351	2,306	2,261
	学級数 (CL)	67	63	62	69	75	74	74	72	72	70

特別支援学級の推移

(各年5月1日現在)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
旭 小 学 校	級 数 - 担 任 数	2-3	2-3	2-3	3-3	4-4
	児 童 数 (人)	8	10	10	13	18
東 栄 小 学 校	級 数 - 担 任 数	5-5	5-5	5-5	5-5	4-4
	児 童 数 (人)	15	19	19	21	17
渋 川 小 学 校	級 数 - 担 任 数	2-2	2-2	2-2	2-2	2-2
	児 童 数 (人)	4	2	3	5	5
本 地 原 小 学 校	級 数 - 担 任 数	3-3	3-3	3-3	3-3	4-4
	児 童 数 (人)	7	9	10	12	17
城 山 小 学 校	級 数 - 担 任 数	2-2	2-2	2-2	2-2	2-2
	児 童 数 (人)	6	5	7	8	9
白 鳳 小 学 校	級 数 - 担 任 数	2-2	2-2	3-3	3-3	3-3
	児 童 数 (人)	5	10	14	14	16
瑞 鳳 小 学 校	級 数 - 担 任 数	2-2	3-3	3-3	3-3	3-3
	児 童 数 (人)	8	10	9	10	11
旭 丘 小 学 校	級 数 - 担 任 数	3-3	3-3	3-3	4-4	4-4
	児 童 数 (人)	5	7	9	16	16
三 郷 小 学 校	級 数 - 担 任 数	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3
	児 童 数 (人)	11	13	14	15	16
旭 中 学 校	級 数 - 担 任 数	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3
	生 徒 数 (人)	19	18	19	12	13
東 中 学 校	級 数 - 担 任 数	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3
	生 徒 数 (人)	17	20	15	12	11
西 中 学 校	級 数 - 担 任 数	2-2	2-2	2-2	2-2	2-2
	生 徒 数 (人)	4	7	4	9	9
合 計	学 級 数 (CL)	32	33	34	36	37
	児 童 生 徒 数 (人)	109	130	133	147	158
	担 任 数 (人)	33	34	35	36	37

児童生徒の発育状況

▼ 小学校

区 分		身 長 (cm)						体 重 (kg)					
		男			女			男			女		
		令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度
1 年	市	116.3	117.1	117.1	116.0	115.5	115.6	21.3	21.7	21.6	20.9	20.7	20.9
	県	116.8	116.7	-	115.0	116.0	-	21.5	21.6	-	20.7	21.1	-
	全国	116.7	117.0	-	115.8	116.0	-	21.7	21.8	-	21.2	21.3	-
2 年	市	122.6	122.4	123.2	120.9	122.3	121.4	24.2	24.2	24.6	23.3	23.6	23.3
	県	122.2	122.8	-	121.2	121.4	-	24.2	24.5	-	23.4	23.5	-
	全国	122.6	122.9	-	121.8	122.0	-	24.5	24.6	-	23.9	24.0	-
3 年	市	128.4	128.5	128.0	127.3	127.0	128.3	27.2	27.5	27.2	26.6	26.5	26.6
	県	128.0	128.3	-	127.1	127.4	-	27.3	27.6	-	26.4	26.6	-
	全国	128.3	128.5	-	127.6	128.1	-	27.7	28.0	-	27.0	27.3	-
4 年	市	133.6	134.2	134.0	133.2	134.0	133.1	30.7	30.9	30.9	29.5	30.3	29.8
	県	133.3	133.3	-	133.2	134.1	-	30.8	31.0	-	29.7	30.2	-
	全国	133.8	133.9	-	134.1	134.5	-	31.3	31.5	-	30.6	31.1	-
5 年	市	138.6	139.1	139.9	139.6	140.2	140.8	33.9	34.6	34.5	33.7	33.9	34.7
	県	139.3	140.4	-	140.5	140.5	-	34.8	35.8	-	34.3	34.6	-
	全国	139.3	139.7	-	140.9	141.4	-	35.1	35.7	-	35.0	35.5	-
6 年	市	146.1	145.0	145.7	147.0	146.5	146.8	39.2	38.4	38.7	38.8	38.9	38.6
	県	144.9	145.7	-	146.9	147.5	-	38.6	39.3	-	38.8	39.7	-
	全国	145.9	146.1	-	147.3	147.9	-	39.6	40.0	-	39.8	40.5	-

▼ 中学校

区 分		身 長 (cm)						体 重 (kg)					
		男			女			男			女		
		令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度
1 年	市	153.4	154.0	152.5	151.5	151.8	151.3	44.3	44.8	43.1	42.8	43.3	42.7
	県	153.0	154.0	-	151.7	151.8	-	44.3	45.6	-	43.9	43.5	-
	全国	153.6	154.0	-	152.1	152.2	-	45.2	45.7	-	44.4	44.5	-
2 年	市	160.0	160.8	161.0	154.7	154.6	154.7	48.7	49.9	49.5	46.8	46.1	46.3
	県	160.3	160.7	-	154.5	154.5	-	49.6	49.9	-	47.0	46.7	-
	全国	160.6	160.9	-	155.0	154.9	-	50.0	50.6	-	47.6	47.7	-
3 年	市	164.9	165.4	165.8	156.4	156.3	156.2	53.0	53.8	54.2	48.6	49.0	48.3
	県	165.0	165.7	-	156.3	156.3	-	54.0	54.3	-	49.5	49.3	-
	全国	165.7	165.8	-	156.5	156.5	-	54.7	55.0	-	50.0	49.9	-

※ 県・全国数値:「学校保健統計調査」(文科省)より

小中学校の通学区域

▼小学校

学 校 名	通 学 区 域
旭 小 学 校	新居町（五反田の一部）、東大道町（曾我廻間、山の内、原田の一部）、西大道町、城前町（上大道の一部）、向町（一丁目、二丁目、三丁目の一部、四丁目の一部）、北原山町（平池浦の一部、六田池の一部、鳴湫の一部、大久保見の一部）、南原山町（南原山、赤土の一部、石原の一部）、西の野町、北山町、稲葉町、下井町（前の上の一部、下井の一部、勿内の一部）、上の山町（間口の一部）
東 栄 小 学 校	大字新居（字海老蔓の一部、字柏井）、旭台、柏井町（弥栄、公園通の一部）、東栄町、根の鼻町、東大久手町（二丁目、三丁目、四丁目）、三郷町（栄、陶栄の一部、角田の一部）、北原山町（大久保見の一部）、南原山町（赤土の一部）
渋 川 小 学 校	庄中町、渋川町、東印場町、東名西町（二丁目）
本地原小学校	緑町、南新町、南栄町、晴丘町、長坂町、上の山町（山畑、間口の一部）、北本地ヶ原町、南本地ヶ原町、東本地ヶ原町
城 山 小 学 校	大字新居（字海老蔓の一部）、平子町、城山町、新居町（西浦、山の田、木の本、明才切の一部、寺田の一部、上の田の一部、今池下の一部、五反田の一部）、城前町（城前、茅池、一丁目、二丁目、三丁目、四丁目）、向町（三丁目の一部、四丁目の一部）、旭前町（北の一部、新田洞、一丁目、二丁目、五丁目）
白 鳳 小 学 校	桜ヶ丘町、白鳳町、霞ヶ丘町、印場元町、旭前町（北の一部、三丁目、四丁目、六丁目）、東名西町（一丁目）、平子ヶ丘町
瑞 鳳 小 学 校	東山町、西山町、庄南町、大塚町、吉岡町
旭 丘 小 学 校	大字新居（字海老蔓の一部）、旭ヶ丘町、大久手町、新居町（下切戸、諏訪南、今池下の一部、寺田の一部、上の田の一部、明才切の一部）、柏井町（公園通の一部）、東大久手町（一丁目）、北原山町（陀摩屋敷、鳴湫の一部、平池浦の一部、六田池の一部）、東大道町（原田の一部）
三 郷 小 学 校	三郷町（中井田、陶栄の一部、富丘、角田の一部）、東三郷町、南原山町（赤土の一部、石原の一部）、井田町、瀬戸川町、狩宿町、狩宿新町、下井町（前の上の一部、下井の一部、勿内の一部）

▼中学校

学 校 名	通 学 区 域
旭 中 学 校	大字新居（字海老蔓の一部）、旭ヶ丘町（山の手、濁池）、新居町、東大道町（原田、山の内、曾我廻間の一部）、西大道町、向町、北原山町（六田池の一部）、西の野町、稲葉町（一丁目、二丁目、三丁目、四丁目の一部）、平子町、城山町、城前町、旭前町（北の一部、新田洞、一丁目、二丁目、五丁目）、緑町、長坂町、上の山町、南新町、南栄町、晴丘町、北本地ヶ原町、南本地ヶ原町、東本地ヶ原町
東 中 学 校	大字新居（字海老蔓の一部、字柏井）、旭台、柏井町、旭ヶ丘町（森、旭ヶ丘、長洞）、大久手町、東大久手町、東栄町、根の鼻町、三郷町、東三郷町、井田町、瀬戸川町、狩宿町、狩宿新町、北原山町（鳴湫、大久保見、陀摩屋敷、平池浦、六田池の一部）、東大道町（曾我廻間の一部）、南原山町、北山町、下井町、稲葉町（四丁目の一部、五丁目）
西 中 学 校	旭前町（西新田、北の一部、三丁目、四丁目、六丁目）、桜ヶ丘町、白鳳町、霞ヶ丘町、印場元町、東名西町、庄中町、渋川町、東印場町、東山町、西山町、庄南町、大塚町、吉岡町、平子ヶ丘町

尾張旭市立小学校・中学校

(令和6年度)

	旭小学校 尾張旭市西の野町五丁目1番地 校長……速 水 一 美 教職員数……30名 学級数……22 (特4) 児童数……551名 開校年月…明治6年9月 電話 0561-53-2035
	東栄小学校 尾張旭市東栄町三丁目5番地1 校長……中 島 学 路 教職員数……33名 学級数……22 (特4) 児童数……499名 開校年月…昭和27年4月 電話 0561-53-2926
	渋川小学校 尾張旭市渋川町一丁目5番地8 校長……水 谷 茂 樹 教職員数……21名 学級数……14 (特2) 児童数……310名 開校年月…明治6年8月 電話 0561-53-2044
	本地原小学校 尾張旭市南新町中畑252番地 校長……長 谷 川 環 教職員数……30名 学級数……21 (特4) 児童数……538名 開校年月…昭和29年1月 電話 0561-53-2702
	城山小学校 尾張旭市城山町城山13番地1 校長……大 澤 禎 一 教職員数……32名 学級数……23 (特2) 児童数……628名 開校年月…昭和45年4月 電話 0561-53-5020
	白鳳小学校 尾張旭市白鳳町一丁目12番地 校長……水 野 夏 子 教職員数……34名 学級数……25 (特3) 児童数……643名 開校年月…昭和47年4月 電話 0561-53-5700

瑞鳳小学校



尾張旭市大塚町二丁目 10 番地 1

校 長……堀 江 志 衣

教職員数……25 名

学級数……15 (特3)

児童数……347 名

開校年月…昭和 53 年 4 月

電話 052-773-2391

旭丘小学校



尾張旭市大久手町上切戸 117 番地 1

校 長……柴 田 由 喜

教職員数……32 名

学級数……23 (特4)

児童数……580 名

開校年月…昭和 54 年 4 月

電話 0561-54-3066

三郷小学校



尾張旭市瀬戸川町一丁目 122 番地

校 長……龍 尾 和 子

教職員数……28 名

学級数……21 (特3)

児童数……506 名

開校年月…昭和 57 年 4 月

電話 0561-54-8777

旭中学校



尾張旭市向町二丁目 4 番地 2

校 長……二 村 尚 文

教職員数……48 名

学級数……25 (特3)

生徒数……823 名

開校年月…昭和 22 年 4 月

電話 0561-53-2910

東中学校



尾張旭市下井町前の上 1602 番地

校 長……山 下 浩 司

教職員数……46 名

学級数……24 (特3)

生徒数……771 名

開校年月…昭和 51 年 4 月

電話 0561-54-6511

西中学校



尾張旭市渋川町三丁目 2 番地 9

校 長……伊 藤 彰 浩

教職員数……43 名

学級数……21 (特2)

生徒数……667 名

開校年月…昭和 55 年 4 月

電話 0561-54-1191

年齢別人口からみた学校別・児童生徒数とクラス数

【小学校】

学 校 名	教室等 合計	普通 教室	特別 教室等	普通教室 への転用 が可能で ある室	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	(室)	(室)	(室)		児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL
旭小学校	34	22	12	4	551	22	582	23	589	23	571	23	578	23	552	23	538	23
東栄小学校	36	22	14	4	499	22	483	21	476	21	462	20	442	19	424	18	412	17
渋川小学校	27	14	13	3	310	14	285	13	261	13	256	13	256	13	246	13	236	12
本地原小学校	37	21	16	6	538	21	532	21	519	21	513	21	500	21	475	20	438	19
城山小学校	39	23	16	7	628	23	602	22	578	21	556	21	528	20	507	20	484	19
白鳳小学校	37	25	12	3	643	25	630	24	625	24	633	24	626	23	626	23	591	22
瑞鳳小学校	34	15	19	10	347	15	343	15	321	15	326	15	306	15	306	15	306	15
旭丘小学校	34	23	11	4	580	23	561	22	535	21	528	21	515	21	505	21	488	21
三郷小学校	35	21	14	5	506	21	516	21	509	21	510	21	498	21	464	20	454	20
計	313	186	127	46	4,602	186	4,534	182	4,413	180	4,355	179	4,249	176	4,105	173	3,947	168

※全学年で35人学級を実施

【中学校】

学 校 名	教室等 合計	普通 教室	特別 教室等	普通教室 への転用 が可能で ある室	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	(室)	(室)	(室)		生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL
旭中学校	52	25	27	8	823	25	836	26	868	27	875	28	873	28	866	28	841	27
東中学校	45	24	21	6	771	24	804	25	789	24	807	25	812	25	814	25	829	25
西中学校	41	21	20	6	667	21	659	21	694	22	677	21	675	21	619	19	639	20
計	138	70	68	20	2,261	70	2,299	72	2,351	73	2,359	74	2,360	74	2,299	72	2,309	72

※中学校1年生のみ35人学級を実施

※CL(クラス数)には、特別支援学級を含む。(現在の特別支援学級数に変更がないものとした。)

※私立小中学校への通学見込者は考慮していない。

児童・生徒数推計＜学校別、学年別＞

(参考資料)

旭 小	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL
1年	94	3	107	4	90	3	82	3	103	3	74	3	82	3
2年	95	3	94	3	107	4	90	3	82	3	103	3	74	3
3年	94	3	95	3	94	3	107	4	90	3	82	3	103	3
4年	99	3	94	3	95	3	94	3	107	4	90	3	82	3
5年	78	3	99	3	94	3	95	3	94	3	107	4	90	3
6年	73	3	78	3	99	3	94	3	95	3	94	3	107	4
特支	18	4	15	4	10	4	9	4	7	4	2	4		4
合計	551	22	582	23	589	23	571	23	578	23	552	23	538	23

東 栄 小	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL
1年	75	3	69	2	83	3	66	2	69	2	61	2	64	2
2年	74	3	75	3	69	2	83	3	66	2	69	2	61	2
3年	86	3	74	3	75	3	69	2	83	3	66	2	69	2
4年	76	3	86	3	74	3	75	3	69	2	83	3	66	2
5年	88	3	76	3	86	3	74	3	75	3	69	2	83	3
6年	83	3	88	3	76	3	86	3	74	3	75	3	69	2
特支	17	4	15	4	13	4	9	4	6	4	1	4		4
合計	499	22	483	21	476	21	462	20	442	19	424	18	412	17

渋 川 小	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL
1年	45	2	33	1	37	2	41	2	54	2	36	2	35	1
2年	44	2	45	2	33	1	37	2	41	2	54	2	36	2
3年	54	2	44	2	45	2	33	1	37	2	41	2	54	2
4年	46	2	54	2	44	2	45	2	33	1	37	2	41	2
5年	59	2	46	2	54	2	44	2	45	2	33	1	37	2
6年	57	2	59	2	46	2	54	2	44	2	45	2	33	1
特支	5	2	4	2	2	2	2	2	2	2	0	2		2
合計	310	14	285	13	261	13	256	13	256	13	246	13	236	12

※全学年で35人学級を実施

児童・生徒数推計＜学校別、学年別＞

(参考資料)

本地原小	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL
1年	88	3	88	3	88	3	65	2	78	3	67	2	52	2
2年	89	3	88	3	88	3	88	3	65	2	78	3	67	2
3年	87	3	89	3	88	3	88	3	88	3	65	2	78	3
4年	70	2	87	3	89	3	88	3	88	3	88	3	65	2
5年	94	3	70	2	87	3	89	3	88	3	88	3	88	3
6年	93	3	94	3	70	2	87	3	89	3	88	3	88	3
特支	17	4	16	4	9	4	8	4	4	4	1	4		4
合計	538	21	532	21	519	21	513	21	500	21	475	20	438	19

城山小	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL
1年	91	3	89	3	83	3	82	3	82	3	79	3	69	2
2年	98	3	91	3	89	3	83	3	82	3	82	3	79	3
3年	106	4	98	3	91	3	89	3	83	3	82	3	82	3
4年	104	3	106	4	98	3	91	3	89	3	83	3	82	3
5年	106	4	104	3	106	4	98	3	91	3	89	3	83	3
6年	114	4	106	4	104	3	106	4	98	3	91	3	89	3
特支	9	2	8	2	7	2	7	2	3	2	1	2		2
合計	628	23	602	22	578	21	556	21	528	20	507	20	484	19

白鳳小	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL
1年	113	4	104	3	110	4	96	3	104	3	96	3	81	3
2年	94	3	113	4	104	3	110	4	96	3	104	3	96	3
3年	107	4	94	3	113	4	104	3	110	4	96	3	104	3
4年	85	3	107	4	94	3	113	4	104	3	110	4	96	3
5年	113	4	85	3	107	4	94	3	113	4	104	3	110	4
6年	115	4	113	4	85	3	107	4	94	3	113	4	104	3
特支	16	3	14	3	12	3	9	3	5	3	3	3		3
合計	643	25	630	24	625	24	633	24	626	23	626	23	591	22

※全学年で35人学級を実施

児童・生徒数推計＜学校別、学年別＞

(参考資料)

瑞 鳳 小	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL
1年	48	2	54	2	48	2	60	2	47	2	49	2	48	2
2年	49	2	48	2	54	2	48	2	60	2	47	2	49	2
3年	66	2	49	2	48	2	54	2	48	2	60	2	47	2
4年	50	2	66	2	49	2	48	2	54	2	48	2	60	2
5年	67	2	50	2	66	2	49	2	48	2	54	2	48	2
6年	56	2	67	2	50	2	66	2	49	2	48	2	54	2
特支	11	3	9	3	6	3	1	3	0	3	0	3		3
合計	347	15	343	15	321	15	326	15	306	15	306	15	306	15

旭 丘 小	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL
1年	87	3	93	3	64	2	99	3	74	3	86	3	72	3
2年	91	3	87	3	93	3	64	2	99	3	74	3	86	3
3年	85	3	91	3	87	3	93	3	64	2	99	3	74	3
4年	102	3	85	3	91	3	87	3	93	3	64	2	99	3
5年	89	3	102	3	85	3	91	3	87	3	93	3	64	2
6年	110	4	89	3	102	3	85	3	91	3	87	3	93	3
特支	16	4	14	4	13	4	9	4	7	4	2	4		4
合計	580	23	561	22	535	21	528	21	515	21	505	21	488	21

三 郷 小	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL	児童数	CL
1年	80	3	92	3	80	3	80	3	75	3	55	2	72	3
2年	86	3	80	3	92	3	80	3	80	3	75	3	55	2
3年	83	3	86	3	80	3	92	3	80	3	80	3	75	3
4年	76	3	83	3	86	3	80	3	92	3	80	3	80	3
5年	83	3	76	3	83	3	86	3	80	3	92	3	80	3
6年	82	3	83	3	76	3	83	3	86	3	80	3	92	3
特支	16	3	16	3	12	3	9	3	5	3	2	3		3
合計	506	21	516	21	509	21	510	21	498	21	464	20	454	20

※全学年で35人学級を実施

児童・生徒数推計＜学校別、学年別＞

(参考資料)

旭 中	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL
1年	276	8	298	9	291	9	286	9	296	9	284	9	261	8
2年	258	7	276	7	298	8	291	8	286	8	296	8	284	8
3年	276	7	258	7	276	7	298	8	291	8	286	8	296	8
特支	13	3	4	3	3	3		3		3		3		3
合計	823	25	836	26	868	27	875	28	873	28	866	28	841	27

東 中	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL
1年	235	7	272	8	275	8	260	8	277	8	277	8	275	8
2年	286	8	235	6	272	7	275	7	260	7	277	7	277	7
3年	239	6	286	8	235	6	272	7	275	7	260	7	277	7
特支	11	3	11	3	7	3		3		3		3		3
合計	771	24	804	25	789	24	807	25	812	25	814	25	829	25

西 中	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL	生徒数	CL
1年	206	6	237	7	249	8	191	6	235	7	193	6	211	7
2年	210	6	206	6	237	6	249	7	191	5	235	6	193	5
3年	242	7	210	6	206	6	237	6	249	7	191	5	235	6
特支	9	2	6	2	2	2		2		2		2		2
合計	667	21	659	21	694	22	677	21	675	21	619	19	639	20

※中学校1年生のみ35人学級を実施

学 校 給 食

学校給食の目標

- (1) 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- (2) 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養うこと。
- (3) 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- (4) 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- (5) 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- (6) 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- (7) 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

給食実施の状況

▼調理施設

内 容	学校給食センター
所 在 地	尾張旭市旭前町新田洞 5 0 0 5 番地 6
開 設 年 月 日	平成 2 2 年 9 月 1 日
規 模 ・ 構 造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下 1 階 地上 2 階建 延床面積 5, 2 9 6 . 4 7 m ² 敷地面積 5, 7 1 2 . 5 3 m ²
運 営 方 式	ドライシステム方式
調 理 能 力	8, 0 0 0 食／日
調 理 業 務 等	民間委託

▼食育学習施設

食育指導室 A ・ B、食育実習室、見学者通路、展示ホール

▼年間給食実施回数

年度 区分	令和元年度 実施回数	令和2年度 実施回数	令和3年度 実施回数	令和4年度 実施回数	令和5年度 実施回数
小 学 校	1 7 4 回	1 7 6 回	1 9 0 回	1 9 0 回	1 8 8 回
中 学 校	1 7 3 回	1 7 4 回	1 8 6 回	1 8 6 回	1 7 7 回

▼学校別調理食数（児童生徒職員数）

令和6年10月1日現在

小 学 校 別		中 学 校 別	
旭 小 学 校	5 8 7 食	旭 中 学 校	8 5 6 食
東 栄 小 学 校	5 2 9 食	東 中 学 校	7 8 9 食
渋 川 小 学 校	3 2 9 食	西 中 学 校	7 0 0 食
本 地 原 小 学 校	5 6 0 食		
城 山 小 学 校	6 6 0 食		
白 鳳 小 学 校	6 8 0 食		
瑞 鳳 小 学 校	3 7 3 食		
旭 丘 小 学 校	6 0 7 食		
三 郷 小 学 校	5 3 7 食		
小学校計	4, 8 6 2 食	中学校計	2, 3 4 5 食
合 計		7, 2 0 7 食	

▼給食費の推移（1人1食当たり）

期間	平成4年1月 ～ 平成9年3月	平成9年4月 ～ 平成11年3月	平成11年4月 ～ 平成23年3月	平成23年4月 ～ 平成29年3月	平成29年4月 ～
小学校	1 9 0 円	1 9 4 円	2 1 0 円	2 3 0 円	2 5 0 円
中学校	2 2 0 円	2 2 4 円	2 4 0 円	2 6 0 円	2 8 0 円

給食の内容

▼主食及び牛乳の提供回数

内 容		回 数
主 食	パ ン	週 1 回
	米 飯	週 3.5 回
	麵 類	週 0.5 回
飲 用 牛 乳		週 5 回

▼アレルギー対応給食数

令和5年度 年間5, 2 3 7 食（1日平均28食）

▼乳アレルギー以外の飲用牛乳摂取困難者への代替食（豆乳）提供

令和5年度 年間1, 5 8 4 食（1日平均9食）

▼小学生又は中学生1人1回当たりの学校給食摂取基準

小 学 生

区 分	令 和 5 年 度 の 摂 取 栄 養 量	基 準 量	充 足 率
エネルギー（kcal）	6 2 3	6 5 0	9 6 %
たんぱく質（g）	2 5.9	学校給食による摂取エネルギー全体の13～20%	学校給食による摂取エネルギー全体の16.6%
脂 質（g）	2 0.2	学校給食による摂取エネルギー全体の20～30%	学校給食による摂取エネルギー全体の29.2%

カルシウム (mg)	333	350	95%
鉄 (mg)	2.7	3.0	90%
レチノール当量 (μg) (マイクログラム)	231	200	115%
ビタミンB1 (mg)	0.52	0.40	131%
ビタミンB2 (mg)	0.53	0.40	133%
ビタミンC (mg)	23	25	93%
食物繊維 (g)	4.9	4.5	110%
食塩相当量 (g)	2.4	2.0未満	120%

中学生

区 分	令和5年度の 摂取栄養量	基 準 量	充 足 率
エネルギー (kcal)	780	830	94%
たんぱく質 (g)	31.3	学校給食による摂取エネルギー全体の13～20%	学校給食による摂取エネルギー全体の16.1%
脂 質 (g)	23.2	学校給食による摂取エネルギー全体の20～30%	学校給食による摂取エネルギー全体の26.8%
カルシウム (mg)	361	450	80%
鉄 (mg)	3.4	4.5	76%
レチノール当量 (μg) (マイクログラム)	273	300	91%
ビタミンB1 (mg)	0.69	0.50	138%
ビタミンB2 (mg)	0.60	0.60	100%
ビタミンC (mg)	28	35	80%
食物繊維 (g)	6.3	7.0	90%
食塩相当量 (g)	3.0	2.5未満	120%

主な食育事業

事 業	会 場	実 施 日	参加人数
食育推進講演会	給食センター	11月9日 2月20日	23人 38人
ふれあい給食	本地原小学校 瑞鳳小学校	6月19日 1月26日	3年生 70人 5年生 56人
夏休み！親子で探検給食 センターわくわくツアー	給食センター	8月18日午前 8月18日午後 8月19日午前	12組 32人 12組 33人 12組 29人
親子料理教室	給食センター	5月20日 12月16日	10組 23人 10組 27人
学校給食試食会	給食センター	7月14日 11月9日 2月20日	49人 23人 38人
あさピースマイル給食	全学校	8月を除く毎月 2回	—
もっと！あさピースマイル 給食28	全学校	12月1日	—
給食献立募集	応募 194点 採用 11点 (令和6年1月から順次提供)		

社 会 教 育

生涯学習の推進

1 生涯学習案内冊子「ハート to は〜と 生涯学習講座一覧」

各種の講座、教室等を一覧にした冊子を作成し、公共施設やホームページで公開している。

- ・令和5年10月発行：431事業
- ・令和6年3月発行：438事業

2 生涯学習教授リスト

生涯学習指導者等に関するリストを作成し、公共施設やホームページで公開している。

- ・令和6年3月現在：登録人数 158人

3 生涯学習団体紹介

市内の生涯学習団体に関するリストを、公民館同好会一覧及びPRポスター事業に移行し、ホームページ等で公開している。

- ・令和6年3月末現在：公民館同好会一覧 13団体
PRポスター事業 20団体

4 講座・部活動指導者募集

地域の子どもたちや学びたい人のために部活動で指導していただける方、講座の講師、ボランティアを募集している。

- ・令和5年度登録者 29人

5 生涯学習フェスティバル

学習の成果を発表する場や生涯学習の啓発のため、生涯学習フェスティバルを開催している。

- ・令和5年度（第29回） 28事業 約5,000人参加

青少年教育

1 親子ふれあい事業

親子等と一緒に豊かな体験をし、ふれあいを深めるための事業を実施している。

令和5年度実績

- ・親子ふれあい星空教室（長野県阿智村） 6組 19人参加
- ・親子ふれあいプログラミング教室 15組 延58人参加

2 少年少女発明クラブ

子どもたちの創造性豊かな人間形成を図ることを目的に、地域住民を指導員として工作体験を通じ、電気や機械、科学の仕組みなどを学ぶ講座を実施している。

- ・令和5年度 31回開催 延383人参加

3 天体観測事業

スカイワードあさひ天体観測室を利用し、天体や宇宙への興味を深める事業を実施している。
令和5年度実績

	事業名	開催回数（回）	延べ参加人数（人）
1	親子天体教室	3	49
2	夜間天体観望会	31	1,417
3	太陽観望会	151	7,097
4	その他の天体事業	5	117

4 二十歳の集い（旧 新成人の集い）

将来の担い手として社会の一員となったことを祝う「二十歳の集い」を開催している。
以前は「新成人の集い」として開催していたが、令和4年度に成年年齢が18歳に引き下げられたことから、従来通り20歳を迎えられた方を対象に名称を変更して実施している。
・令和6年1月7日（日） 対象者814人／参加者678人（参加率83.3%）

5 地域の教育力推進事業費補助金

地域教育力の向上を図る活動を行う団体に対して、補助金を交付し活動を支援する。
・令和5年度交付団体 2団体 参加者253人

成人教育

1 民踊講習会

地域の民踊（盆踊り）を盛り上げるため、毎年1回講習会を実施している。

※ 令和5年度は101人参加

2 家庭教育学級

各小学校で学級を開設し、学級生の自主的な企画を通じ、学習や仲間づくりを行っている。
年1回オンラインを活用した合同家庭教育学級を継続実施している。

3 思春期子育て講座

思春期の特徴や心と身体の変化を学ぶ講座を、対面とオンラインの併用で開催し、いつでもどこでも学ぶことのできる環境を整備した。

社会教育団体の育成

社会教育団体の活動に必要な援助を行い、社会教育団体の活動を推進している。

令和5年度社会教育団体補助金の交付

・尾張旭市地域婦人団体連絡協議会

文化振興

1 市民文化祭の開催

市民が参加できる文化芸術事業として、市民展、市民芸能発表大会及び市民音楽祭を尾張旭市文化協会に委託して開催した。市民の文化芸術に対する関心を高め、その活動を支援するとともに、発表や鑑賞の機会を提供し、地域文化を振興した。

▼令和5年度開催状況

事業名	第49回市民展	第42回市民芸能発表大会	第40回市民音楽祭
期日	10月29日（日） ～11月5日（日）	11月3日（金・祝）	11月5日（日）
会場	スカイワードあさひ	文化会館ホール	文化会館ホール
応募者数 出演者数	出展総数：306点 ・絵画 114点 ・書道 35点 ・写真 50点 ・彫塑工芸 60点 ・文芸 47点 入場者数：約5200人	20団体（370人） 種目：和太鼓・詩吟・琴・ 剣舞・尺八・民謡・ フラメンコ等 入場者数：約870人	20団体（432人） ※学校 旭野高等学校 旭中学校 旭小学校 種目：合唱、器楽等 入場者数：約910人

2 文化振興基金の活用

文化振興基金の積み立ての実施

平成21年度より基金の募集を開始し、令和5年度も引き続き基金の募集を推進した。

令和5年度基金積立額：129,765円

（内訳 指定寄附金129,620円、利子145円）

令和5年度基金取崩額：492,000円

（内訳 棒の手保存育成委託料231,000円、打ちはやし保存育成委託料87,000円、
ざい踊り保存育成委託料58,000円、馬の塔保存育成委託料116,000円）

基金総額：6,926,813円（令和6年3月末現在）

3 文化協会への事業委託

尾張旭市における文化の総括的団体である尾張旭市文化協会に対して、市民に参加又は鑑賞の機会を提供するため、講座の開催、展示会、発表会等の事業を委託した。

（令和6年3月末現在 11部会68団体）

4 市長賞・教育委員会教育長賞の交付

（1団体）

開催日	主催者	催物名	交付内容
7月30日（日）、 31日（月）	瀬戸音楽協会	第34回愛知県尾東音楽コンクール	賞状1枚 盾1個

5 激励費の交付

（17名）

開催日	大会名	会場	氏名
8月5日（土） ～7日（月）	第28回全国中学・高校ディ ベート選手権（ディベート甲 子園）	千葉大学	山内 空太

8月17日(木) ～21日(月)	第47回ピティナ・ピアノコンペティション	王子ホール	林 洋介
9月8日(金) ～17日(日)	第29回レオシュ・ヤナーチ ェク国際コンクール	チェコ国立ヤナーチ ェク音楽アカデミー	古宮 幹康
9月16日(土) ～17日(日)	第13回 NAMUE バレエコンク ール	芸術創造センター	佐野竜星
9月16日(土) ～17日(日)	第13回 NAMUE バレエコンク ール	芸術創造センター	佐野辰樹
11月5日(日)	第12回日本学校合奏コンク ール 2023 全国大会ソロ&ア ンサンブルコンテスト	けんしん郡山文化セ ンター	久保田 茜
11月5日(日)	第12回日本学校合奏コンク ール 2023 全国大会ソロ&ア ンサンブルコンテスト	けんしん郡山文化セ ンター	森 絢香
11月5日(日)	第12回日本学校合奏コンク ール 2023 全国大会ソロ&ア ンサンブルコンテスト	けんしん郡山文化セ ンター	細野 瑞葉
11月5日(日)	第12回日本学校合奏コンク ール 2023 全国大会ソロ&ア ンサンブルコンテスト	けんしん郡山文化セ ンター	市原 佐恵
11月5日(日)	第12回日本学校合奏コンク ール 2023 グランドコンテス ト全国大会	けんしん郡山文化セ ンター	市原 百恵
11月5日(日)	第12回日本学校合奏コンク ール 2023 全国大会ソロ&ア ンサンブルコンテスト	けんしん郡山文化セ ンター	山内 寧々
11月5日(日)	第12回日本学校合奏コンク ール 2023 全国大会ソロ&ア ンサンブルコンテスト	けんしん郡山文化セ ンター	加藤 夢唯
11月5日(日)	第12回日本学校合奏コンク ール 2023 グランドコンテス ト全国大会	けんしん郡山文化セ ンター	岩田 真実
11月19日 (日)	第36回全日本マーチングコ ンテスト	大阪城ホール	柴山 せり花
12月26日 (火)	第3回全国高校軽音楽部大会 we are SNEAKER AGES	東京ドームシティ	旭野高等学校 軽音部
1月25日(木) ～27日(土)	第32回全国高等学校文化 連盟将棋新人大会	金沢市文化ホール 金沢ニューグランド ホテル	中島 彰吾
2月11日(日)	第5回 Minecraft カップ	日本マイクロソフト 株式会社品川本社	細川 瑛介

6 伝統文化親子教室の支援 (5団体)

教室名	分野	実施団体	参加者
将棋親子教室	将棋	旭将棋教室	24人
尾張旭どうだん亭茶道親子教室	茶道	尾張旭どうだん亭茶道親子教室	12人
「おどりで遊ぼう」日本舞踊尾張旭教室	日本舞踊	あさひ乃会	19人
棒の手親子教室	祭り行事	尾張旭市無形民俗文化財 検藤流棒の手保存会	20人
「楽しい長唄」哉芽会親子教室	長唄	哉芽会	10人

文化財保護

市内に残る文化財の保護及びその活用を図るとともに、市民の文化財愛護意識の高揚を図った。

1 歴史教育

各種講座等の開催

講座名	開催日	開催内容	参加者 (延べ)
史跡めぐり	5月27日(土) 6月1日(木) 8月8日(火) 11月2日(木) 11月9日(木)	市内の史跡や文化財等を広く市民に紹介し、知識を深めてもらうため、ボランティアグループふるさとガイド旭による史跡めぐりを開催した。また、夏季には小学生向け史跡めぐりを開催し、児童が文化財に理解を深める機会を提供した。	93人
郷土の歴史講座	12月9日(土) 12月23日(土)	郷土の歴史や文化財等について学ぶ機会を提供し、郷土への愛着や知識を深めてもらうため講座を開催した。	82人
新春ふるさとカルタ会	1月21日(日)	カルタを通じふるさと尾張旭市の良さを知り、市民のふるさと意識の醸成を図るため、「尾張旭ふるさとカルタ」を用いたカルタ会を開催した。	36人

2 無形民俗文化財

(1) 無形民俗文化財の保存育成

無形民俗文化財の保存育成を各保存会に委託した。

- ア 尾張旭市の棒の手(県指定)……………尾張旭市棒の手保存会 (5流派)
- イ 尾張旭市の打ちはやし(市指定)……………尾張旭市打ちはやし保存会 (3地区)
- ウ ざい踊り(市指定)……………尾張旭市ざい踊保存会 (2団体)
- エ 尾張旭市の馬の塔(市指定)……………尾張旭市馬の塔保存会 (4地区)

(2) 後継者の育成

- ア 令和5年度報償品支給者数 (図書カード 3,000円分)

(単位：人)

保存会	中学生	高校生	大学生	一般	計
棒の手保存会	40 (5)	27 (△1)	21 (△3)	—	88 (1)
打はやし保存会	8 (3)	6 (△2)	2 (2)	—	16 (3)
ざい踊保存会	6 (4)	8 (2)	1 (—)	—	15 (6)
馬の塔保存会	—	—	—	10 (1)	10 (1)
計	54 (12)	41 (△1)	24 (△1)	10 (1)	129 (11)

※ () 内は前年度からの増減数

(前年度 118 人)

イ 保育園での打ちはやし出前授業

将来的な無形民俗文化財の後継者育成に繋げていくことを目的として、保育園に打ちはやし保存会を招き打ちはやし体験会を実施した。

開催日：8月22日(水)、9月1日(金)、11月8日(水)、12月1日(金)

開催場所：西山保育園、西部保育園、川南保育園、藤池保育園

ウ 小学校で無形民俗文化財の棒の手クラブを開催

小学校4年生以上の児童を対象に、無二流棒の手保存会の会員の運営による棒の手クラブを開催した。

開催日：11月8日(水)から隔週

開催場所：旭小学校体育館

(3) 無形民俗文化財の紹介

出張企画展

無形民俗文化財がもっとも活躍する秋まつり前に、より多くの方に活動を知っていただくため、県・市指定無形民俗文化財を紹介する出張企画展を開催した。

開催日：9月28日(木)～10月10日(火)

開催場所：市役所ロビー

3 有形文化財

市内に遺る史跡・有形文化財等の整備及び市内史跡の案内板等を修繕した。

(1) 史跡・文化財等の整備

長坂遺跡、印場大塚古墳、長池のマメナシ・アイナシ自生地等の除草、清掃、樹木の剪定

(2) 歴史民俗フロア

(常設展示)

ア 尾張旭市の埋蔵文化財

イ 尾張旭市の無形民俗文化財

ウ 市指定文化財「円空仏」

(企画展示)

エ 企画展示コーナー

(3) 史跡等の修繕

歴史民俗フロアの企画展ブース、史跡案内板「良福寺山門」、復元古民家雨戸鏡板の修繕などを行った。

(4) マメナシイメージキャラクター「マメナッシー」の活用

長池のマメナシ・アイナシ自生地の認知度の向上と保護意識の醸成に繋げることを目的に作成した、マメナシのイメージキャラクター「マメナッシー」を活用し、しおり及び塗り絵の配布やイラストデータの公開等を行った。

4 尾張旭市の指定・登録文化財

市内に遺る貴重な文化財を保護し後世に伝えるため、重要なものを市の指定文化財に指定している。また、国の登録文化財である「どうだん亭（旧浅井家住宅離れ）」の保存と活用を図った。

▼指定文化財一覧

指定区分	指定番号	種別	名称	員数	所在地	指定年月日	所有者又は保持団体
県指定	23号	無形民俗	尾張旭市の棒の手	1団体	—	昭和33年 3月29日	尾張旭市 棒の手保存会
市指定	1号	有形 (彫刻)	木造聖観世音菩薩立像	1体	渋川町三丁目 8番地2	昭和56年 8月1日	庄中保存会
〃	2号	〃	円空仏	5体	城山町長池下 4517番地1	〃	尾張旭市
〃	3号	史跡	印場大塚古墳	1基	大塚町一丁目 13番地4	〃	尾張旭市
〃	4号	無形民俗	尾張旭市の打ちはやし	1団体	—	昭和58年 3月1日	尾張旭市 打はやし保存会
〃	5号	〃	ざい踊り	1団体	—	〃	尾張旭市 ざい踊保存会
〃	6号	有形 (工芸品)	井田八幡神社の 陶製狛犬	3対	井田町一丁目 218番地	〃	八幡神社
〃	7号	有形 (建造物)	良福寺山門	1棟	印場元町一丁目 15番地19	昭和61年 2月10日	良福寺
〃	8号	有形 (古文書)	織田信雄書状	1通	〃	〃	〃
〃	9号	有形民俗	狩宿郷倉	1棟	狩宿町三丁目 205番地	平成4年 5月1日	尾張旭市
〃	10号	無形民俗	尾張旭市の馬の塔	1団体	—	平成12年 4月1日	尾張旭市 馬の塔保存会
〃	11号	天然記念物	長池のマメナシ・ アイナシ自生地	1,037 ㎡	城山町長池下 4523番地1	平成15年 10月1日	尾張旭市
〃	12号	〃	吉賀池湿地	3,636 ㎡	旭ヶ丘町濁池 1150番地	〃	尾張旭市
〃	13号	有形 (工芸品)	狩宿白山神社の 陶製狛犬	1対	狩宿町三丁目 143番地	平成19年 4月1日	狩宿白山神社

▼登録文化財一覧

登録区分	登録番号	種別	名称	員数	所在地	登録年月日	所有者又は保持団体
国登録	23-0133	有形 (建造物)	旭サナック本館 (旧旭兵器製造本社事務棟)	1棟	旭前町新田洞 5050番地	平成16年 6月9日	旭サナック 株式会社
〃	23-0303	〃	どうだん亭 (旧浅井家住宅離れ)	1棟	霞ヶ丘町南 298他	平成20年 5月7日	尾張旭市
〃	23-0572	〃	三宅家住宅主屋	1棟	西大道町五輪塚 3676	令和4年 2月17日	個人
〃	23-0573	〃	三宅家住宅蔵	1棟	西大道町五輪塚 3676	〃	〃
〃	23-0574	〃	三宅家住宅庭門及び塀	1棟	西大道町五輪塚 3676-1	〃	〃

5 文化財関係資料の収集整理と書籍の販売・活用

尾張旭市誌をはじめとして、市内遺跡の発掘調査報告書、民俗資料などを収集整理し、書籍として発刊販売している。

社会教育施設等

どうだん亭

日本庭園を有する家屋を教育文化施設として貸し出し、市民等の文化活動の充実を図った。平成20年5月7日、国登録有形文化財に登録された。

▼施設概要

所在地	尾張旭市霞ヶ丘町南298番地
敷地面積	2,417.17㎡
築造構造	木造瓦葺2階建て2棟
延床面積	277.01㎡（うち母屋：198.85㎡ 離れ：78.16㎡）

▼利用状況

区分	市内		市外		計	
	利用数	利用人数	利用数	利用人数	利用数計	利用人数計
令和3年度	317件	2,225人	178件	780人	495件	3,005人
令和4年度	355件	2,378人	220件	777人	575件	3,155人
令和5年度	247件	1,887人	141件	700人	388件	2,587人

※ 令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため8月30日から9月30日までの利用を中止した。

▼一般公開入場者数

区分	春の一般公開		秋の一般公開		計	
	公開期間	入場者数	公開期間	入場者数	公開期間計	入場者数計
令和3年度	9日間	1,017人	9日間	3,474人	18日間	4,491人
令和4年度	7日間	776人	7日間	1,837人	14日間	2,613人
令和5年度	7日間	747人	7日間	1,574人	14日間	2,321人

※ 令和3・4年度の一般公開については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため呈茶を中止し、開館時間を午後3時までとし消毒作業を実施した。

▼一般公開同時企画について

一般公開をより楽しんでいただくため、一般公開に合わせて市にゆかりのある作家の作品の展示を行った。

(1) 星合信令干支置物展

開催日 4月12日（水）～18日（火）（春の一般公開中）

(2) 竹筆・竹細工の名工 松原立雄展

開催日 11月15日（水）～21日（火）（秋の一般公開中）

文化会館

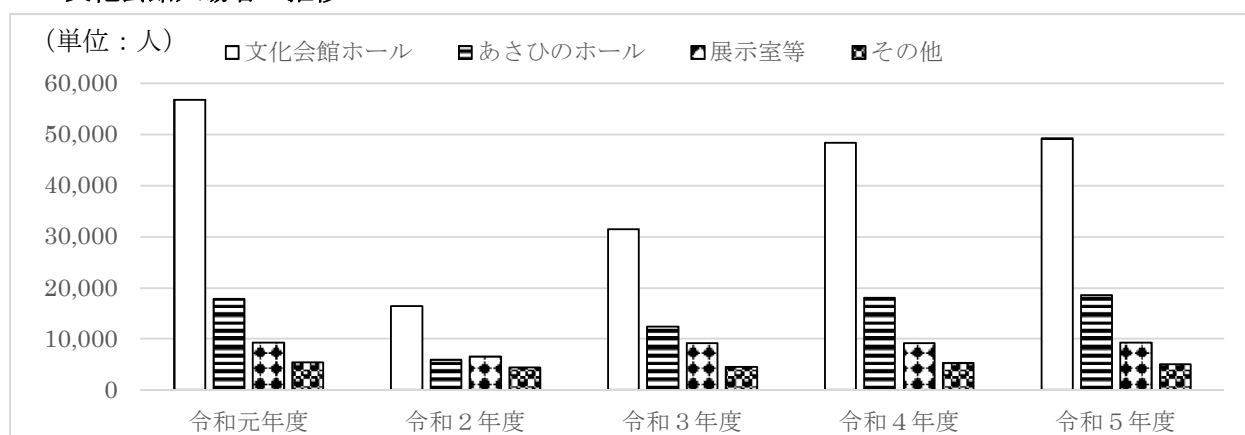
市民に文化に接する機会と場所を提供し、知識と教養を高めるための施設として、また、文化情報発信の施設として充実を図った。なお、施設の管理は、平成19年度から指定管理者が行っている。

施設は、オーケストラ演奏、ピアノ発表会などの音楽、舞踊、演劇、映画、講演会などのできる大小2つのホールのほか、絵画、書、写真、工芸品等が展示できる施設があり、年間を通じて市民の文化・芸術活動の拠点となっている。

1 施設の概要

名 称	尾張旭市文化会館
所 在 地	尾張旭市東大道町山の内2410番地11
開 設 日	昭和56年10月1日
構 造	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造 4階建
面 積	(延)5,857.70㎡
施 設	文化会館ホール(固定イス 903席、専用スペース3席) 楽屋 4室 あさひのホール(固定イス 289席、専用スペース3席) 楽屋 2室 展示室、展示ギャラリー、展示ロビー 練習室 3室 研修室 2室

2 文化会館入場者の推移



(単位：人)

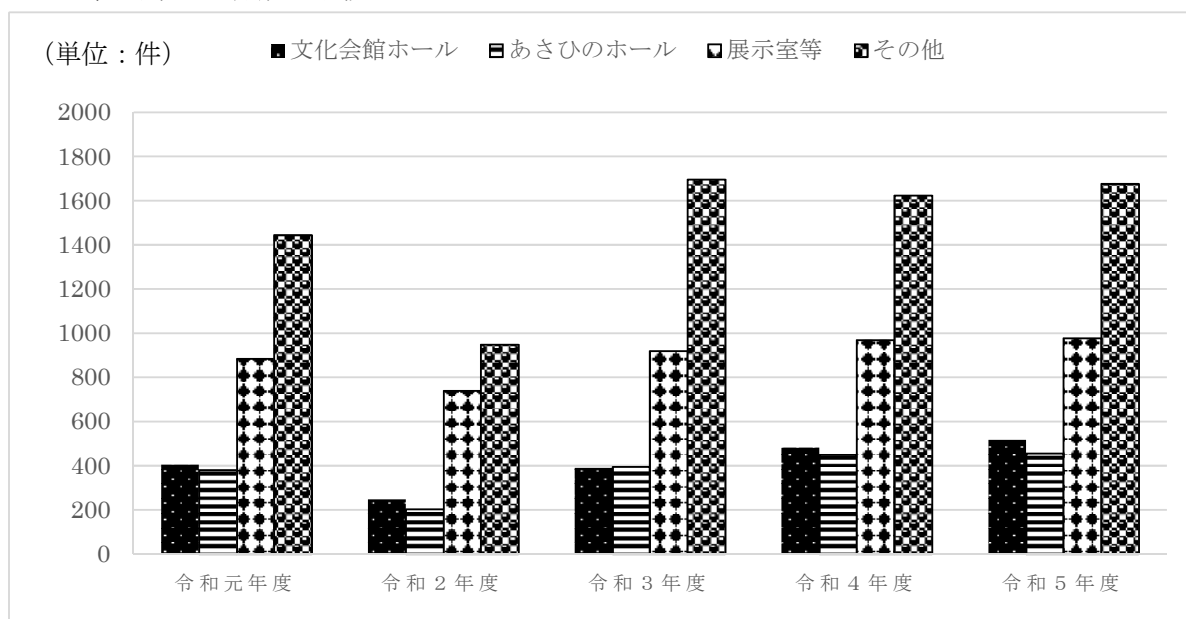
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
文化会館ホール	56,786	16,388	31,465	48,404	49,163
あさひのホール	17,879	5,911	12,465	18,076	18,518
展 示 室 等	9,268	6,558	9,155	9,146	9,253
そ の 他	5,369	4,382	4,586	5,246	5,002
合 計	89,302	33,239	57,671	80,872	81,936

※令和元年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、3月4日から31日まで利用を中止した。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、4月1日から5月31日まで利用を中止した。

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、8月30日から9月30日まで利用を中止した。

3 文化会館使用件数の推移



(単位：件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
文化会館ホール	404	247	388	480	515
あさひのホール	381	204	394	449	454
展示室等	884	739	919	968	977
その他	1,445	948	1,695	1,623	1,675
合計	3,114	2,138	3,396	3,520	3,621

※令和元年度～令和3年度の利用停止期間等は、「2 文化会館入場者の推移」表の説明のとおり。

※各利用時間帯で1件として計上

4 自主文化事業

事業名	公演回数	年月日	曜日	入場料	入場者数	主な演目等
① ホワイエで自由にパフォーマンスしませんか？	1	R5. 4. 1～ R5. 5. 31	火～日	無料	8	ホワイエ開放日に来場者が自由に演奏やパフォーマンスを実施
②芸術展	4	R5. 5～ R6. 3	火～日	無料	3,799	地元作家の作品展示（絵画、写真、彫刻・工芸等）
③ホワイエ星空ジャズナイト	1	R5. 6. 18	日	無料	180	ホワイエにて星空の映像投影とジャズコンサートを開催
④ 夏休み絵画ワークショップ	1	R5. 8. 6	日	1,000 円	45	絵画のワークショップとタブレットでイラストの描き方を学ぶ講座。小学生が対象。

⑤第3回あさびー音楽会	1	R5. 9. 2	土	500 円 ※中学生以下無料	305	幅広い年代を対象にした音楽発表会。あさびー絵画コンクールを同時開催。
⑥尾張旭の種から育てる音楽会～子どもたちとつくるコンサート～	1	R5. 9. 9	土	500 円 ※中学生以下無料	232	騒いでも踊っても OK の 0 歳から大人まで楽しめるクラシックコンサート
⑦ホワイエで自由に演奏をしませんか？	1	R5. 9. 12～ R5. 10. 31	火～日	無料	16	ホワイエ開放日に来場者が自由に楽器の演奏などを実施
⑧工作ワークショップ	3	R5. 12. 10 R6. 1. 21 R6. 2. 25	日	3,000 円	53	紙粘土で形を作って、色を塗って立体のいきものを作る講座
⑨クリスマスコンサート vol. 2	1	R5. 12. 13	水	18 歳以下 500 円 一般 1,000 円	350	◆出演 ゼンケ・タムス・フライアー (バス・バリトン) 岡 里歌子 (ピアノ) ◆曲目 シューベルト「冬の旅」
⑩ホワイエクリスマスコンサート	1	R5. 12. 17	日	無料	240	◆出演 椎屋 冴彩 (ソプラノ) 伊藤 万佑子 (ピアノ) ◆曲目 グノー「アヴェ・マリア」 ほか
⑪第 16 回ニューイヤークンサート	1	R6. 1. 14	日	高校生以下 800 円 大人 1,000 円	890	市民合唱団の発表を主とした音楽発表会
⑫岡野兄弟/陽影月-HIKAGETSU-コンサート	1	R6. 3. 10	日	1,000 円 ※中学生以下無料	788	津軽三味線のピアノの和洋コラボユニット「陽影月」による体験型コンサート
合計 12 事業	17	—	—	—	6,906	—

公民館

市民が気軽に利用できる学習の場、ふれあいの場として、中央公民館と9つの地区公民館（1小学校区に1公民館）が設置されている。

公民館は、市民の生涯学習の拠点として、多様な学習意欲に応えるため、講座の開設や公民館まつりなどの各種事業の実施、公民館を主な活動場所とする自主活動団体の支援などを行い、教養の向上や生活文化の発展など、地域住民のために大きな役割を果たしている。

▼公民館概要（令和6年度）

館 名	開設年月日	主 な 施 設 概 要
中央公民館	昭和59年 9月1日	東大道町山の内2410番地2 鉄筋コンクリート造 3階建 4,518㎡ 1階 会議室（3室）、展示ロビー 2階 和室、工作室、実習室、音楽室（2室）、軽運動室（2室）、 会議室（3室） 3階 会議室（6室）、音楽室（3室）
瑞鳳公民館	昭和54年 4月1日	大塚町二丁目10番地2 鉄筋コンクリート造 2階建 544㎡ 集会室（2室）、会議室（4室）、実習室
三郷公民館	昭和56年 4月1日	井田町三丁目163番地 鉄筋コンクリート造 2階建 513㎡ 会議室（4室）、料理室
藤池公民館	昭和57年 4月1日	東栄町一丁目4番地7 鉄筋コンクリート造 2階建 519㎡ 研修室、実習室、集会室、和室
平子公民館	昭和58年 4月1日	平子町中通219番地2 鉄筋コンクリート造 2階建 558㎡ 研修室、実習室、集会室、和室
本地原公民館	昭和58年 4月1日	緑町緑ヶ丘100番地10 鉄筋コンクリート造 2階建 536㎡ 研修室、実習室、集会室、和室
白鳳公民館	昭和62年 4月7日	白鳳町二丁目20番地 鉄筋コンクリート造 2階建 590㎡ 研修室、実習室、集会室、和室
旭丘公民館	昭和63年 4月11日	大久手町上切戸70番地 鉄筋コンクリート造 2階建 580㎡ 研修室、実習室、集会室、和室
渋川公民館	平成8年 4月1日	渋川町一丁目6番地1 鉄筋コンクリート造 2階建 816㎡ 研修室、実習室、集会室（2室）、和室、工作室
宮浦公民館 ※1	昭和55年 4月1日	稲葉町四丁目75番地 鉄筋コンクリート造 2階建 527㎡ 会議室、研修室、生活改善室、和室（2室）

※1 令和4年4月に所管替えにより、コミュニティセンター宮浦会館から宮浦公民館に名称変更

各種講座

1 市民塾（あさびーなび）

市民が講師となって、自らの学習成果を生かし、それぞれの知識、教養、特技を市民の学習に役立てている。

令和５年度 講座数 ５３講座・受講者 ３８６人

2 地域ふれあい講座

各地区公民館等で、地域住民を対象とした特色ある講座を独自に計画し、開催している。

令和５年度 講座数 ４０講座・受講者 ３７２人

3 外国語講座

外国人講師を含む専門講師により、日常英会話などの講座を開催している。（選任講師）

令和５年度 講座数 ２講座・受講者 １９人

4 企画講座

市民塾で人気のあった講座や市民の関心のある講座を開催している。（選任講師）

令和５年度 講座数 ５講座・受講者 ４７人

5 スマホワンコイン講習会等

デジタルに不慣れな高齢者を対象に、情報リテラシーについて学ぶとともにオンラインでの講座につなげるため、スマートフォンの基本操作等の講習会や教室を開催している。

令和５年度 講座数 ２講座・受講者 １７４人

6 成人大学講座

成人を対象として、主に大学教授を講師に迎え、一般教養、専門知識をより深めることを目的に開催している。

令和５年度 講座数 ４講座・受講者 １２０人

7 高齢者教室（長寿学園）

市内在住の６０歳以上の方を対象に、教養、健康、趣味など日常生活での生きがいを見出すための教室を開催している。

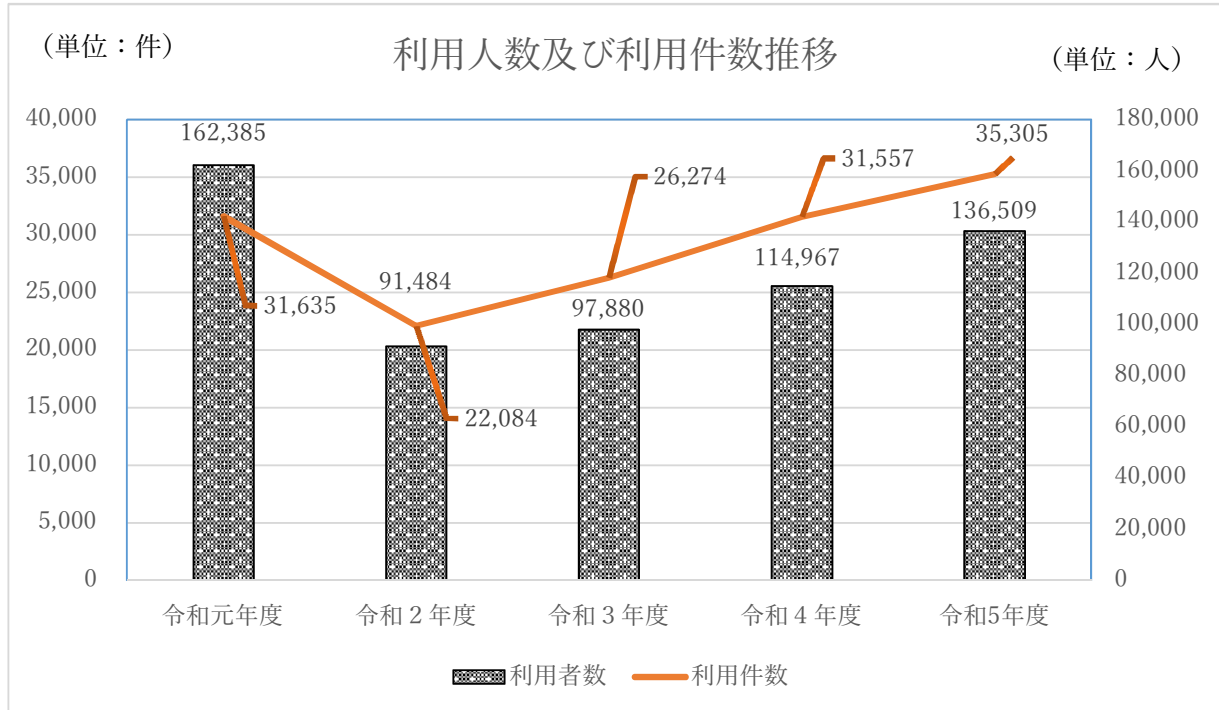
・令和５年度 教室生 １７５名

・活動内容 年間１２回の講話を開催（オープンキャンパス〔長寿課と共同実施〕、名古屋経営短期大学での一日大学を含む）また、クラブ活動（健康体操クラブ・はがき絵クラブ・チャレンジクラブ）を開催

公民館等の利用状況

1 中央公民館

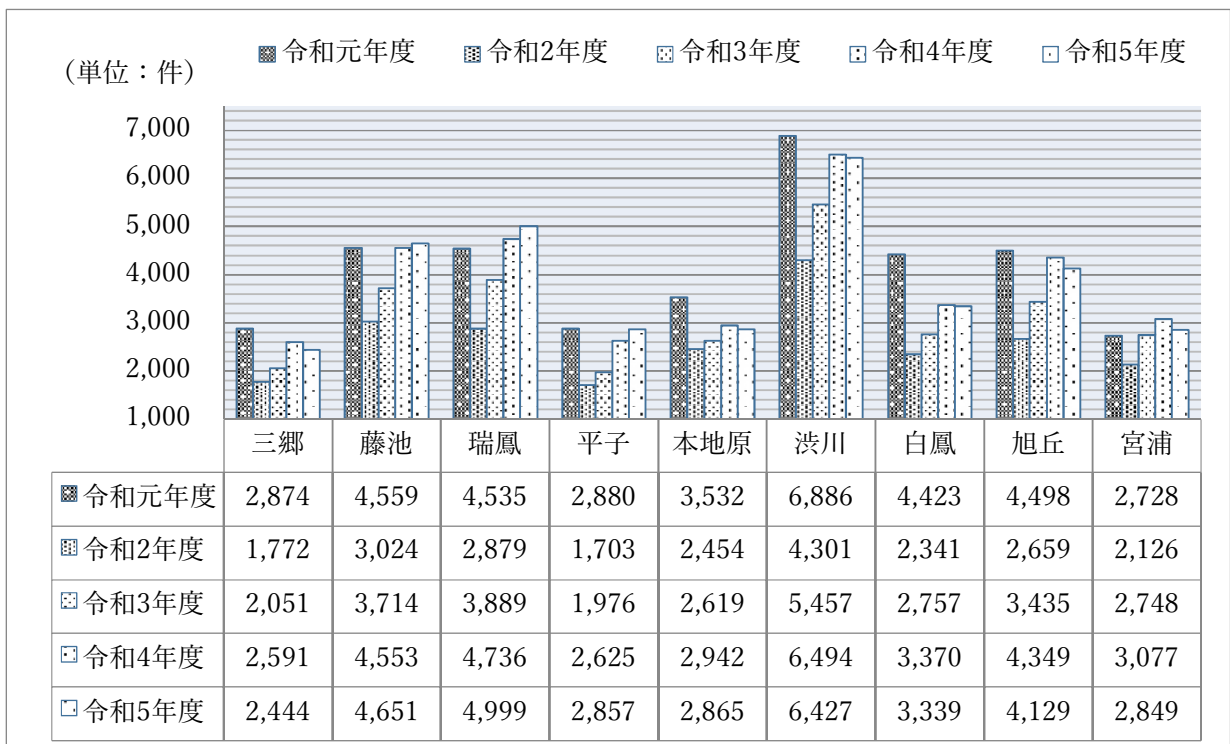
利用人数及び利用件数の推移



(利用人数：実人数 利用件数：1時間1件)

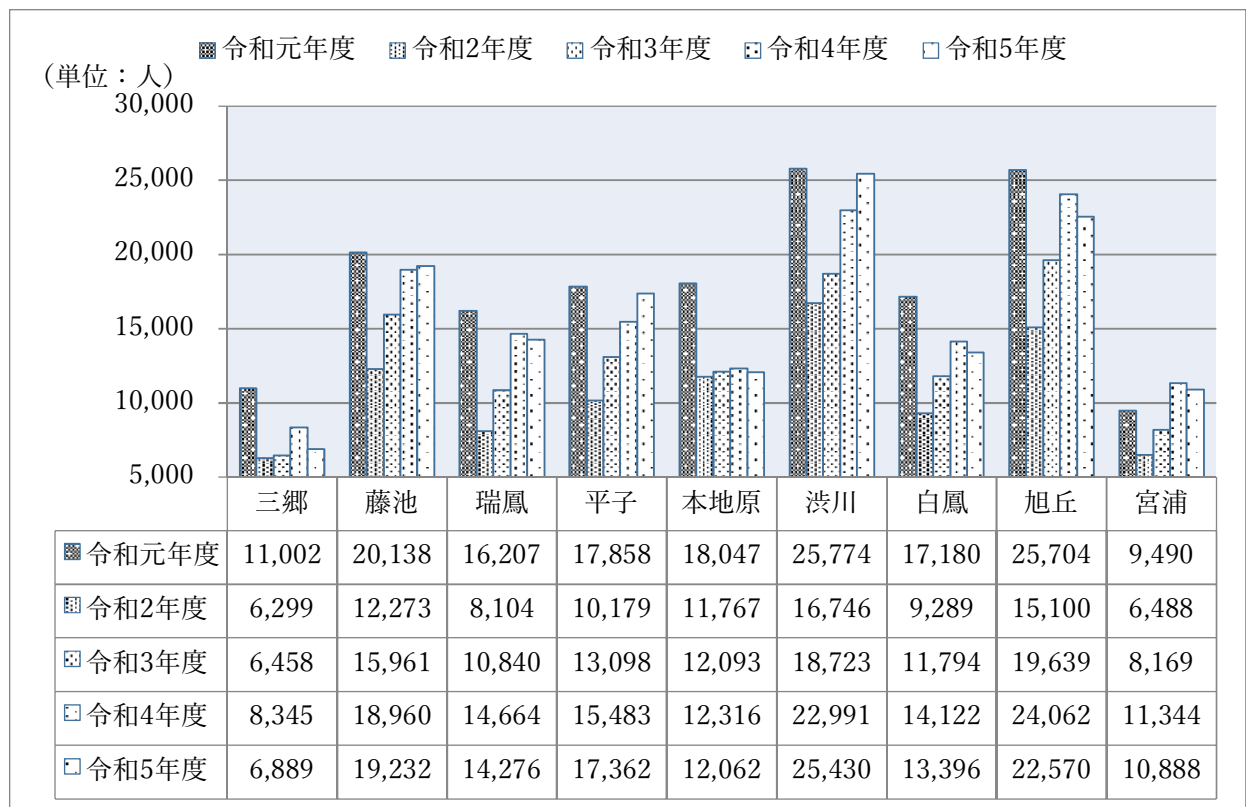
2 地区公民館等

(1) 利用件数の推移



(1時間1件)

(2) 利用者数の推移



(実人数)

自主活動団体の育成・援助

1 自主活動団体（サークル）の育成

公民館等を活動場所として、生涯学習を行っている自主活動団体を育成するため、その活動を支援している。

(令和6年4月現在 計36団体)

活 動 場 所	団体数	活 動 場 所	団体数
中 央 公 民 館	25	本 地 原 公 民 館	1
瑞 鳳 公 民 館	1	白 鳳 公 民 館	1
三 郷 公 民 館	0	旭 丘 公 民 館	0
藤 池 公 民 館	2	渋 川 公 民 館	1
平 子 公 民 館	1	宮 浦 公 民 館	4

2 活動の目標とその成果の発表

自主活動をしている団体を対象に、日頃の活動の成果を発表する場として、さらには生涯学習の推進のための一翼を担っていただくことを目的に、次のような各種の作品展、発表会を開催し、活動の活性化を図っている。

(1) 公民館まつり

ア 作品展示部門

期 間：令和6年2月19日（月）から3月24日（日）まで

会 場：中央公民館展示ロビー

方 法：各団体7日間のリレー展示方式（2団体ごと）

団体数：8団体

来場者：292人

イ 作品展示部門（実演体験）

期 間：令和6年3月2日（土）、3日（日）

会 場：中央公民館102会議室、202工作室、207会議室

方 法：各部屋において、パソコン、囲碁、七宝焼の実演と展示

団体数：4団体

来場者：200人

ウ 舞台発表部門

期 間：令和6年3月2日（土）、3日（日）

会 場：文化会館ホール

団体数：17団体

来場者：610人

(2) 地区公民館作品展示会

館 名	開催期間	参加団体	作品点数	来館者数
三郷公民館	10月14日（土） 15日（日）	11	154	133
瑞鳳公民館		5	194	308
平子公民館		10	275	159
渋川公民館		22	294	409
旭丘公民館		9	349	146
藤池公民館	10月21日（土） 22日（日）	12	401	195
白鳳公民館		14	216	203
宮浦公民館		7	121	300
本地原公民館	10月28日（土） 29日（日）	11	149	180
合 計		101	2,153	2,033

図書館

図書館は、生涯学習や余暇活動を支援する拠点施設として、利用者の資料要求やレファレンス等に応えるほか、読書通帳の配布やおはなし会等の読み聞かせを始めとする様々な自主事業を実施している。

図書館資料は、図書、視聴覚資料、雑誌、新聞等について、新刊や市民からのリクエスト要望の多い資料を中心に購入するほか、愛知県図書館をはじめ、他市図書館等と連携して相互貸借を行い、市民の知識力・読書欲を下支えしている。また、地区公民館8館、新池交流館及び東部市民センターでの図書館資料の予約取次・返却受付を行うなど、利便性の向上を目指している。

1 施設の概要

名 称	尾張旭市立図書館		
所 在 地	東大道町山の内2419番地5		
開 設 日	昭和56年4月8日		
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）		
	地上2階建		
延床面積	1,393.25㎡		
<1階>		<2階>	
開架閲覧室	507.42㎡	参考室	131.73㎡（30席）
事務室	103.85㎡	視聴覚室	164.40㎡（56席）
閉架書庫	52.40㎡	おはなしのへや	57.55㎡
閉架書庫2	88.80㎡		

2 自主事業

読書を奨励し、図書館の利用推進を図るため、イベントや講座等の事業を実施している。

(1) 各種おはなし会

幼児・低学年児童を対象とした「おはなし会」や、赤ちゃん（6か月～2歳児）とその保護者を対象とした「あかちゃんからのおはなし会」、「大人のためのおはなし会」などを、ボランティアの協力を得て行い、本に親しむ機会を提供している。

(2) 図書館のお仕事体験

小学校高学年を対象に、夏休み子ども一日司書を実施し、図書館業務の体験を通して図書館や本に親しむ機会を設けている。

(3) 読書感想画コンクール

冬休み期間中に小学生の読書習慣を形成するため開催し、学校と連携して作品募集、優秀作品の展示や表彰を行い、読書の啓発を図っている。

3 健康都市尾張旭を推進する資料の収集

「朝見武彦文庫健康コーナー」（朝見武彦健康推進基金により平成21年2月に設置）にて医学や食・運動などの健康に関する資料を収集し、提供している。

5 図書館資料

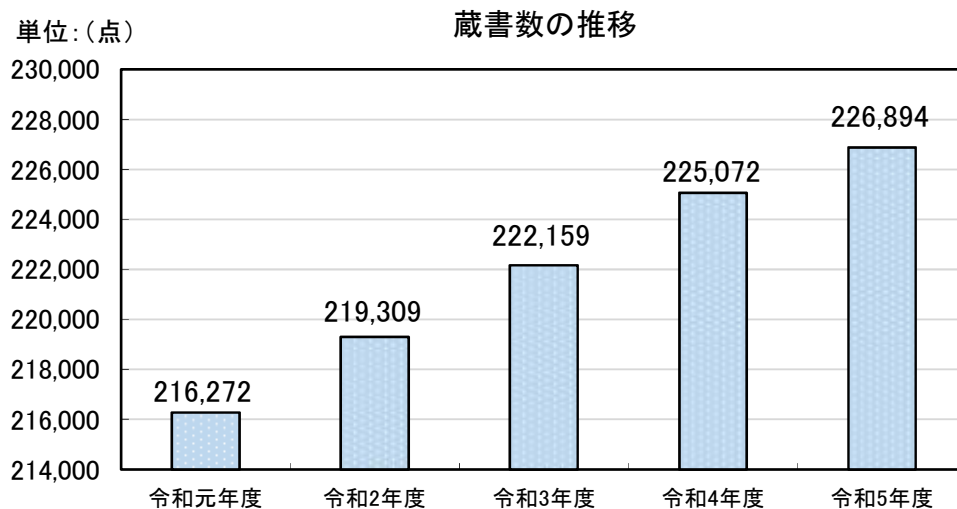
(1) 蔵書数

(単位：点)

種別	分類・内容		一 般 書	児 童 書	計
図 書	0	総 記	4, 595	497	5, 092
	1	哲 学	3, 767	626	4, 393
	2	歴 史	8, 660	2, 563	11, 223
	3	社 会 科 学	14, 766	3, 279	18, 045
	4	自 然 科 学	10, 167	5, 839	16, 006
	5	技 術	8, 948	2, 243	11, 191
	6	産 業	3, 873	1, 500	5, 373
	7	芸 術	12, 248	3, 065	15, 313
	8	言 語	1, 286	668	1, 954
	9	文 学	56, 367	24, 653	81, 020
	A	郷 土 資 料	7, 235	366	7, 601
	E	絵 本	2	33, 188	33, 190
	L	大 活 字 本	1, 192	121	1, 313
	R	参 考 資 料	4, 553	306	4, 859
	マ	マ ン ガ	0	301	301
	小 計		137, 659	79, 215	216, 874
	M	逐 次 刊 行 物	3, 191	602	3, 793
	K	紙 芝 居	38	1, 373	1, 411
	小 計		3, 229	1, 975	5, 204
	中 計		140, 888	81, 190	222, 078
視聴覚資料	T	カセット			4
	U	C D			3, 525
	V	ビ デ オ			7
	W	D V D			1, 280
	計				4, 816
合 計			226, 894		

令和6年3月31日現在

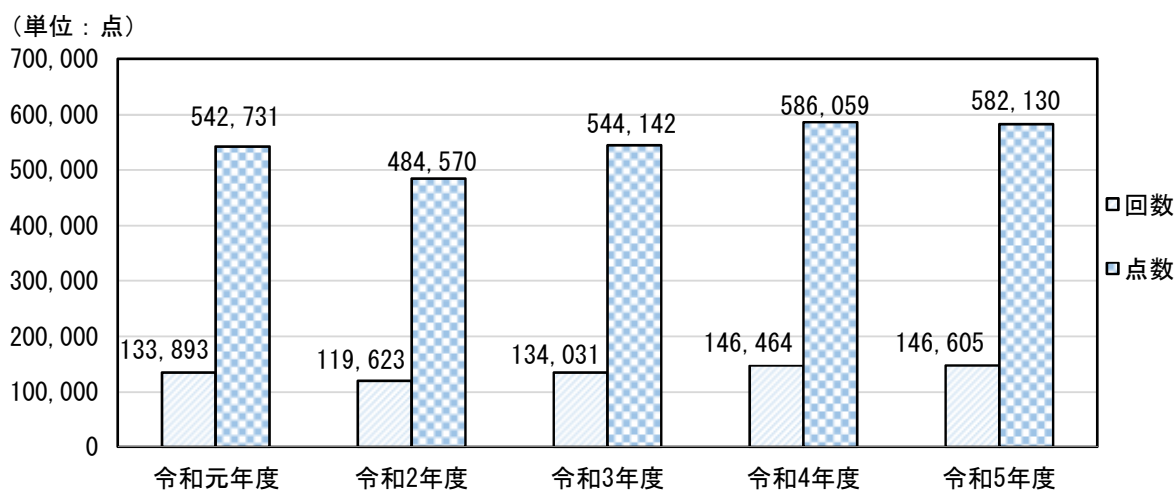
(2) 蔵書数の推移



6 利用状況

年度	登録者数			貸出利用回数（回）			総 貸 出 点 数 （点）					
	個人 （人）	団体 （団体）	合 計	個人	団体	合計	一般書	児童書	雑誌	紙芝居	視聴覚 資料	合計
令和元年度	18,733	93	18,826	133,306	587	133,893	287,361	211,879	20,690	3,430	19,371	542,731
令和2年度	20,709	99	20,808	119,271	352	119,623	247,895	196,080	20,534	3,112	16,949	484,570
令和3年度	22,739	101	22,840	133,616	415	134,031	269,406	234,574	20,964	3,242	15,956	544,142
令和4年度	24,751	105	24,856	146,089	375	146,464	284,979	259,170	21,930	3,694	16,286	586,059
令和5年度	26,789	106	26,895	146,192	413	146,605	281,331	259,818	22,137	3,826	15,018	582,130

※ 総貸出利用回数と総貸出点数の推移



社 会 体 育

市民スポーツの普及・振興

1 スポーツ教室

市民の健康維持、増進を図ることはもとより、市民スポーツの普及の場、市民相互のコミュニケーションの場として、各種のスポーツ教室を開催した。

(1) 指定管理者定期スポーツ教室（指定管理者：ハマダスポーツ企画）

事業内容	教室数	参加者数（人）
健康太極拳、心とからだにやさしいリズム体操、いきいきウォーキング&筋トレ、はじめてヨガ、爽快エクササイズ、南国フラダンス、疲労回復ヨガ、リンパエクササイズ、バランスボールで体幹運動、ピラティス、子ども身体能力向上運動、親子リズムミック、キックボクシングテクニック&パワーエクササイズ、健康体操、バドミントン、フィットネスウォーキング、ミニバスケットボール、なわとび教室、キッズ総合体育、キンダー総合体育、ジュニアバドミントン、ジュニアバレーボール、卓球、ジュニア卓球、ノルディックウォーキング、ソフトテニス、ジュニア硬式テニス、弓道、硬式テニス、ランニング、ジュニア陸上、ジュニアサッカー、親子リズムミック体操、ジュニアバレーボール、夏休みジュニアバドミントン、バウンドテニス、特訓コース	48教室	2,468 (前年度比1,305人減)

2 ニュースポーツ・レクリエーションスポーツ等の普及

地域住民の健康増進及び相互親睦を目的に、各地域にて自主、自立したレクリエーションスポーツ活動等が展開できるよう地域スポーツの振興を図るとともに、市民だれもが気軽に楽しむことができるニュースポーツ・レクリエーションスポーツ、またラジオ体操・ウォーキングを普及するため、その体験会等を開催した。

事業内容	教室数	参加者数（人）
ニュースポーツ体験会	11	1,656 (前年度比419人増)
スポーツ推進委員派遣	15	550 (前年度比84人減)
ウォーキングイベント (あさひ軽々楽々ウォーキング)	2	228 (前年度比58人増)
ラジオ体操講習会	1	18 (前年度比11人増)
シニア向けニュースポーツ体験会	2	27 (前年度比14人減)

3 市民スポーツ大会

スポーツ技術力の向上と市民の健康増進を図るため、市民スポーツ大会、市民ゴルフ大会並びに市民ジョギング大会を企画し、開催した。

(1) 市民スポーツ大会（令和5年4月23日～令和6年1月14日）

22競技種目 参加者合計 3,447人

- (2) 市民ゴルフ大会（令和5年10月16日）
参加者数 220人（男174人・女46人）
- (3) 市民ジョギング大会（令和5年12月17日）
参加者数 1,041人

指導者・少年スポーツの育成

1 スポーツ指導者育成事業

各スポーツ団体の組織の充実及び資質の向上を図るため、スポーツ活動を推進する指導者を育成するための事業を実施した。

2 少年スポーツ育成事業

児童生徒等の健康の保持増進と体力の向上を図るため、体育・スポーツ活動を推進するための事業を実施した。

事業名	スポーツ団体数	事業数	参加者（人）
スポーツ指導者育成事業	16	45	4,291
少年スポーツ育成事業	7	22	3,071

スポーツ団体の育成

1 スポーツ活動推進事業

スポーツ団体の育成とスポーツ競技力の向上を図るため、スポーツ大会を実施する団体に対して市長杯等を交付した。

市長杯争奪スポーツ大会

14競技種目 参加者合計 1,703人

2 スポーツ大会選手派遣事業

競技力の向上等を図るため、市民体育大会等で優秀な成績を収めた選手及びチームを、愛知県青年体育大会等のスポーツ競技大会へ派遣し、その費用の一部を助成した。

(1) 第71回記念全国青年大会

1競技種目 参加者合計 12人

(2) 愛知万博メモリアル第16回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

令和5年12月2日（土） 愛・地球博記念公園

【結果】 市の部（38市） 21位

全体（54市町村） 22位

(3) 全国大会出場者激励費交付

延べ112件（内訳：全国大会 104件、世界大会 8件）

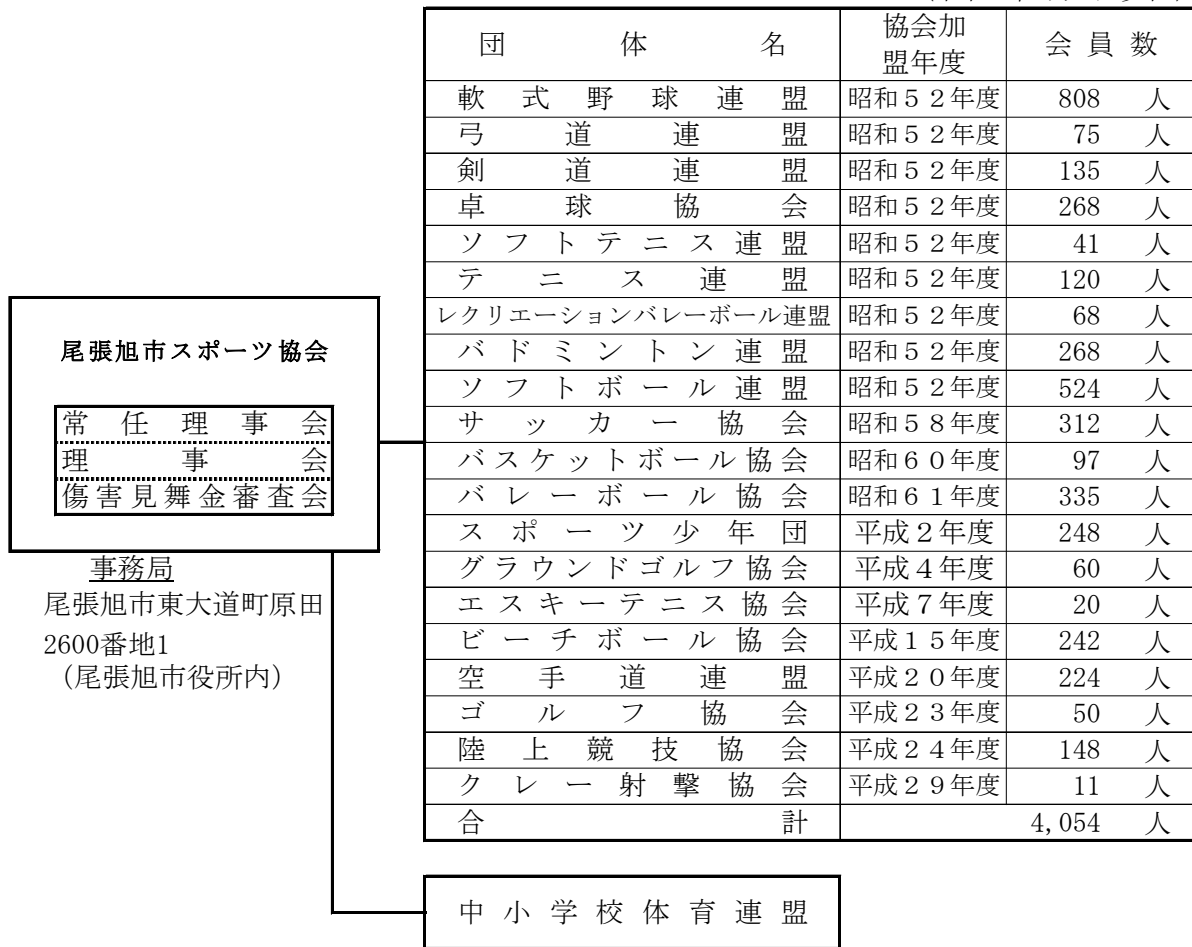
3 スポーツ団体への指導、援助

尾張旭市スポーツ協会

スポーツ団体相互の連携と強化発展を主たる目的として設立されている尾張旭市スポーツ協会に対し、自主的に運営活動ができるよう、また、充実した組織として発展ができるよう積極的に指導、援助を行った。

〔尾張旭市スポーツ協会組織図〕

(令和6年4月1日現在)



体育施設の整備充実

1 体育施設の整備充実

市民が快適にスポーツを楽しむことができるよう、体育施設の適切な管理、運営を行うとともに、利用者数の増加等に応えるため、施設の一層の整備、充実を図った。

○施設の主な整備改修工事

- ・総合体育館空調設備等整備工事監理委託（令和4年度→令和5年度繰越事業）
- ・総合体育館空調設備整備工事（令和4年度→令和5年度繰越事業）

○体育施設の備品購入

- ・市民プール組み立て式テント
- ・市民プールコースロープ
- ・野球ベース

2 学校体育施設開放事業

市民の体力向上等を目的に、学校行事に支障のない範囲で各小・中学校の体育施設を開放し、地域住民にスポーツ活動の場を提供した。

(1) 小学校運動場開放の利用状況

学 校 名	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	利用	利 用	利用	利 用	利用	利 用	利用	利 用	利用	利 用
	日数	人 数	日数	人 数	日数	人 数	日数	人 数	日数	人 数
旭 小 学 校	98	2,744	72	2,016	78	2,184	120	3,355	105	3,690
東 栄 小 学 校	82	6,740	50	3,730	73	4,780	94	8,200	90	8,346
渋 川 小 学 校	98	8,200	72	4,870	72	4,305	96	4,380	100	5,410
本地原小学校	87	3,480	56	2,190	78	3,120	97	3,852	106	4,240
城 山 小 学 校	84	5,292	53	3,636	75	4,896	94	6,264	86	6,012
白 鳳 小 学 校	95	4,334	64	2,928	77	3,417	100	4,710	101	4,634
瑞 鳳 小 学 校	97	4,010	74	3,570	80	3,980	101	4,160	108	4,655
旭 丘 小 学 校	92	3,680	61	2,440	80	3,200	103	4,060	102	3,820
三 郷 小 学 校	30	686	29	1,060	47	2,300	61	2,800	43	2,000
合 計	763	39,166	531	26,440	660	32,182	866	41,781	841	42,807

（注1）利用人数は、延べ人数。

(2) 小学校体育館開放の利用状況

学 校 名	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	利用	利 用	利用	利 用	利用	利 用	利用	利 用	利用	利 用
	日数	人 数	日数	人 数	日数	人 数	日数	人 数	日数	人 数
旭 小 学 校	272	4,884	176	2,814	198	3,953	291	6,731	294	6,863
東 栄 小 学 校	247	3,990	222	4,131	222	4,946	289	5,621	291	6,542
渋 川 小 学 校	251	5,271	201	3,142	199	3,484	288	5,636	283	6,840
本地原小学校	188	2,675	163	3,087	223	5,314	292	7,100	279	6,504
城 山 小 学 校	274	5,091	181	3,440	234	4,935	305	4,996	294	5,344
白 鳳 小 学 校	221	4,472	187	3,403	203	4,818	282	5,578	278	6,090
瑞 鳳 小 学 校	283	5,315	186	3,586	217	3,117	328	4,860	331	5,364
旭 丘 小 学 校	222	4,176	216	5,003	232	5,468	313	8,121	311	8,937
三 郷 小 学 校	297	7,326	193	5,354	202	4,589	310	6,478	307	6,484
合 計	2,255	43,200	1,725	33,960	1,930	40,624	2,698	55,121	2,668	58,968

（注1）利用人数は、延べ人数。

(3) 中学校運動場開放の利用状況

学 校 名	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	利用	利用	利用	利用	利用	利用	利用	利用	利用	利用
	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数
旭 中 学 校	75	2,263	81	2,353	97	2,677	132	2,666	118	2,897
東 中 学 校	105	3,620	84	2,448	30	851	32	876	15	465
西 中 学 校	129	6,372	109	5,510	79	4,027	141	6,950	156	7,570
合 計	309	12,255	274	10,311	206	7,555	305	10,492	289	10,932

(注1) 利用人数は、延べ人数。

(4) 中学校体育館開放の利用状況

学 校 名	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	利用	利用	利用	利用	利用	利用	利用	利用	利用	利用
	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数	日数	人数
旭 中 学 校	208	4,980	200	6,102	187	4,579	251	5,414	248	6,423
東 中 学 校	247	7,457	203	6,861	186	5,457	247	6,284	249	7,008
西 中 学 校	232	6,951	193	5,067	183	5,021	260	8,872	261	10,030
合 計	687	19,388	596	18,030	556	15,057	758	20,570	758	23,461

(注1) 利用人数は、延べ人数。

3 体育施設利用状況及び概要

(1) 体育施設利用状況

施 設 名 称		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総合体育館	アリーナ	利用人数(人)	53,129	42,838	51,420	55,639
	剣道場	利用人数(人)	29,485	22,604	24,636	27,192
	柔道場	利用人数(人)	20,015	15,140	18,558	18,559
	卓球室	利用人数(人)	36,401	29,101	31,800	33,949
	トレーニング室	利用人数(人)	32,185	16,841	20,052	25,432
	利用人数計		171,215	126,524	146,466	160,771
城山テニスコート		利用人数(人)	22,928	20,908	23,871	21,835
旭ヶ丘テニスコート		利用人数(人)	20,393	16,938	18,283	17,782
晴丘テニスコート		利用人数(人)	32,673	28,575	35,869	38,714
城山野球場		利用人数(人)	11,069	10,677	10,656	10,176
弓道場		利用人数(人)	4,267	3,949	4,222	5,384
旭ヶ丘運動広場		利用人数(人)	23,845	25,115	24,734	24,729
旭ヶ丘デイキャンプ場		利用人数(人)	2,074	878	201	28
晴丘運動広場		利用人数(人)	20,814	16,772	19,075	20,928
南グランド		利用人数(人)	40,005	43,560	51,500	67,985
市民プール広場		利用人数(人)	7,155	6,390	8,628	7,233
平子北グランド		利用人数(人)	15,100	10,465	11,015	13,415
平子町仮設広場		利用人数(人)	11,978	11,781	12,026	13,009
利用人数総合計			383,516	322,532	366,546	401,989

※ 平成30年3月31日廃止

(2) 市民プール利用状況

施 設 名 称		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市民プール	利用	中学生以下	10,900	9,264	14,251	12,550
	人数	高校生以上	6,603	6,589	8,748	8,167
	(人)	合 計	17,503	15,853	22,999	20,717

(3) 体育施設の概要

施 設 の 名 称 (開 設 年 月 日)	施 設 概 要
総 合 体 育 館 (昭 和 53 年 1 月 23 日)	所 在 地 東大道町原田 2 5 7 8 番地 Tℓ 5 4－2 7 3 3
	敷地面積 5, 5 8 7 m ² 延床面積 3, 8 9 1 m ²
	構 造 鉄筋コンクリート (一部鉄骨) 造 4 階建て (床・・・フローリング・ポリウレタン塗装)
	施設内容 ・アリーナ (1, 3 6 3 m ²) バレーボール・バスケットボール (2 面) バドミントン (6 面) 卓球 (1 8 台) ・武 道 場 (5 2 6 m ²) 剣道、柔道 (9 8 畳) ・トレーニング室 (1 2 5 m ²) トレーニング器具 1 式 ・卓球室 (3 0 8 m ²) 卓球 7 台
城 山 テ ニ ス コ ー ト (昭 和 52 年 11 月 27 日)	所 在 地 城山町長池下地内 Tℓ 5 4－3 9 7 1
	敷地面積 3, 0 5 9 m ²
	コートの種類 クレーコート (2, 7 3 9 m ²)
	夜間照明 1 8 基 (平均照度 2 1 4 LX) 利用種目 テニス (4 面)
旭 ケ 丘 テ ニ ス コ ー ト (昭 和 57 年 8 月 1 日)	所 在 地 旭ヶ丘町濁池地内 Tℓ 5 4－1 1 6 6
	敷地面積 2, 0 1 4 m ²
	コートの種類 全天候型コート (2, 0 1 4 m ²)
	利用種目 テニス (3 面)
晴 丘 テ ニ ス コ ー ト (昭 和 62 年 12 月 1 日)	所 在 地 東本地ヶ原町二丁目地内 Tℓ 5 2－2 9 1 4
	敷地面積 6, 7 9 9 m ² (駐車場含)
	コートの種類 砂入り人工芝コート (3, 1 2 0 m ²)
	利用種目 テニス (5 面)
城 山 野 球 場 (昭 和 49 年 10 月 10 日)	所 在 地 城山町長池下地内 Tℓ 5 4－3 9 7 1
	グラウンド面積 1 0, 7 3 4 m ² (両翼 9 0 m・センター 1 1 0 m)
	夜間照明 4 基 (照度 バッテリー間 8 0 0 LX、内野 5 0 0 LX、外野 3 0 0 LX)
	利用種目 軟式野球 (1 面)
弓 道 場 (昭 和 52 年 11 月 27 日)	所 在 地 城山町長池下地内 Tℓ 5 4－3 9 7 1
	敷地面積 6 9 7 m ²
	施設内容 和弓 (近的 2 8 m) 5 人立
	床 面 積 1 3 6 m ² (射場 1 0 7 m ² 、的場 2 9 m ²)
旭 ケ 丘 運 動 広 場 (昭 和 57 年 4 月 1 日)	所 在 地 旭ヶ丘町濁池地内 Tℓ 5 4－1 1 6 6
	敷地面積 2 1, 0 0 0 m ² (テニスコート、デイキャンプ場駐車場含)
	グラウンド面積 1 0, 0 0 0 m ²
	利用種目 少年野球 (1 面) ソフトボール (1 面) サッカー (1 面)
市 民 プ ー ル (昭 和 54 年 7 月 1 日)	所 在 地 上の山町間口地内 Tℓ 5 3－0 6 0 6
	敷地面積 1 3, 6 1 2 m ²
	構 造 鉄筋コンクリート造
	施設内容 ・5 0 m プール (9 コース) 1, 0 0 0 m ² ・2 5 m プール (7 コース) 3 7 5 m ² ・徒渉用プール (変形) 3 4 1 m ²
旭ヶ丘デイキャンプ場 (昭 和 57 年 8 月 1 日)	所 在 地 旭ヶ丘町濁池地内 Tℓ 5 4－1 1 6 6
	施設内容 ・テントサイト 1, 1 0 8 m ² ・炊事場 木造平屋建 (床面積 1 5 m ²)
晴 丘 運 動 広 場 (昭 和 63 年 4 月 1 日)	所 在 地 東本地ヶ原町二丁目地内 Tℓ 5 2－2 9 1 4
	敷地面積 1 9, 0 9 9 m ² (テニスコート、駐車場含)
	グラウンド面積 1 0, 9 7 9 m ²
	利用種目 少年野球 (1 面) ソフトボール (2 面) サッカー (1 面) 2 0 0 m トラック (1 面)

南 グ ラ ン ド (平成3年4月1日)	所 在 地 南栄町旭ヶ丘地内	Tel 5 2 - 5 7 0 0
	敷地面積 25,086 m ²	
	グラウンド面積 20,000 m ²	
	夜間照明 6基 (平均照度208LX)	
	利用種目 陸上・サッカー (1面) ソフトボール (2面)	
平 子 北 グ ラ ン ド (昭和62年8月15日)	所 在 地 平子町北地内	
	グラウンド面積 8,000 m ²	
	利用種目 軟式・硬式野球 (1面) ソフトボール (1面)	
平 子 町 仮 設 広 場 (平成27年4月1日)	所 在 地 平子町北地内	
	グラウンド面積 4,800 m ²	
	利用種目 軟式野球・ソフトボール・サッカー	
西 中 学 校 体 育 施 設 開 放 (平成元年9月15日)	所 在 地 渋川町三丁目地内	Tel 5 1 - 1 3 7 5
	グラウンド面積 8,677 m ²	
	夜間照明 6基 (平均照度225LX)	
	利用種目 軟式野球・ソフトボール・サッカー	
旭 中 学 校 体 育 施 設 開 放 (平成2年9月17日)	所 在 地 向町二丁目地内	Tel 5 1 - 2 7 1 5
	グラウンド面積 8,415 m ²	
	夜間照明 6基 (平均照度232LX)	
	利用種目 ソフトボール・サッカー	
東 中 学 校 体 育 施 設 開 放 (平成3年9月16日)	所 在 地 下井町前の上地内	Tel 5 1 - 2 2 4 5
	グラウンド面積 9,002 m ²	
	夜間照明 6基 (平均照度202LX)	
	利用種目 軟式野球・ソフトボール・サッカー	

各種委員会委員

1 教育支援委員会委員（１５人）

（任期：令和６年７月１日～令和７年６月３０日）

※の委員の任期：令和６年９月１日～令和７年６月３０日

氏 名	所 属 団 体	役 職 等
水 野 夏 子	白 鳳 小 学 校	校 長
中 山 博 喜	旭 中 学 校	教 頭
林 建	白 鳳 小 学 校	教 諭
櫻 木 雄 一 朗	旭 丘 小 学 校	教 諭
瀬 瀬 剛	西 中 学 校	教 諭
佐 伯 公	学 校 保 健 会	会 長
安 藤 郁 子	瀬 戸 旭 医 師 会	医 師
酒 井 理 子	小中学校 P T A 連絡協議会	東栄小学校 副 会 長
倉 田 健 二	愛知県立瀬戸つばき特別支援学校	学識経験者
佐 藤 一 雄	瀬 戸 市 立 瀬 戸 特 別 支 援 学 校	学識経験者
寺 田 奈 緒 子	子 育 て 相 談 課 こ だ も の 発 達 セ ン タ ー	教育委員会が必要と認める者
松 本 真 理 子	保 育 課	教育委員会が必要と認める者
※新 美 万 紀 子	家 庭 児 童 相 談 員	教育委員会が必要と認める者
上 原 敦 子	健 康 課	教育委員会が必要と認める者
長 江 奈 緒 子	福 祉 課	教育委員会が必要と認める者

2 尾張旭市いじめ問題専門委員会委員（５人）

（任期：令和５年３月１日～令和７年２月２８日）

氏 名	所 属 等	分 野
川 瀬 正 裕	金 城 学 院 大 学 教 授	教 育
長 谷 川 雄 一	弁 護 士	法 律
安 藤 郁 子	瀬戸旭医師会所属医師	医 療
上 田 千 鶴	臨 床 心 理 士	心 理
星 原 淳 一	尾張旭市社会福祉協議会	福 祉

3 学校給食運営委員会委員（15人）

（任期：令和6年7月1日～令和7年6月30日）

氏 名	所 属 団 体	役 職 等
宇 理 須 厚 雄	う り す く り ニ ッ ク	名 誉 院 長
柳 生 勝 也	小 中 学 校 P T A 連 絡 協 議 会	三 郷 小 学 校 P T A 会 長
満 岡 利 恵	小 中 学 校 P T A 連 絡 協 議 会	旭 中 学 校 P T A 会 長
岡 部 満 康	小 中 学 校 P T A 連 絡 協 議 会	東 中 学 校 P T A 会 長
水 野 綾 香	小 中 学 校 P T A 連 絡 協 議 会	旭 小 学 校 P T A そ の 他 役 員
吉 田 侑 子	小 中 学 校 P T A 連 絡 協 議 会	本 地 原 小 学 校 P T A そ の 他 役 員
元 田 芳 美	小 中 学 校 P T A 連 絡 協 議 会	瑞 鳳 小 学 校 P T A そ の 他 役 員
若 杉 沙 恵	小 中 学 校 P T A 連 絡 協 議 会	旭 丘 小 学 校 P T A そ の 他 役 員
山 下 恵 里 奈	小 中 学 校 P T A 連 絡 協 議 会	三 郷 小 学 校 P T A そ の 他 役 員
松 尾 亮 太	公 募 委 員	
近 藤 美 冬	公 募 委 員	
速 水 一 美	旭 小 学 校	校 長
大 澤 禎 一	城 山 小 学 校	校 長
柴 田 由 喜	旭 丘 小 学 校	校 長
伊 藤 彰 浩	西 中 学 校	校 長

4 社会教育委員（10人）

（任期：令和5年6月1日～令和7年5月31日）

※1の委員の任期：令和6年6月1日～令和7年5月31日

※2の委員の任期：令和6年8月1日～令和7年5月31日

※3の委員の任期：令和6年9月3日～令和7年5月31日

氏 名	所 属 団 体	役 職 等
※ ₁ 大 澤 禎 一	城 山 小 学 校	校 長
※ ₂ 秋 田 誠	社 会 福 祉 協 議 会	会 長
北 角 富 貴 子	文 化 協 会	副 会 長
藤 松 佐 登 司	ス ポ ー ツ 協 会	会 長
※ ₂ 若 杉 雅 康	棒 の 手 保 存 会	会 長
長 谷 川 裕 子	地 域 婦 人 団 体 連 絡 協 議 会	副 会 長
中 道 晶 乃	子 育 て ネ ッ ト ワ ー カ ー	

※ 3	飯 田 茂 幸	瀬 戸 旭 医 師 会	理 事
	本 田 真	名 古 屋 産 業 大 学	准 教 授
	水 野 さ や か	公 募 委 員	

5 文化財保護審議会委員（４人）

（任期：令和６年２月１日～令和８年１月３１日）

※の委員の任期：令和５年６月１日～令和７年５月３１日

氏 名	所 属 団 体	役 職 等
奥 野 絵 美	財 団 法 人 岩 田 洗 心 館	学 芸 員
桐 原 千 文	元 名 古 屋 市 蓬 左 文 庫	文 庫 長
岡 本 直 久	瀬 戸 市 文 化 振 興 財 団 埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー	所 長
※水 野 茂	元 東 中 学 校	元 校 長

6 公民館運営審議会委員（１２人）

（任期：令和５年６月１日～令和７年５月３１日）

※１の委員の任期：令和６年６月１日～令和７年５月３１日

※２の委員の任期：令和６年１０月１日～令和７年５月３１日

氏 名	所 属 団 体	役 職 等
改 田 世 保 子	文 化 協 会	理 事
松 原 ふ き	地 域 婦 人 団 体 連 絡 協 議 会	支 部 長
※ 1山 田 博 己	小 中 学 校 P T A 連 絡 協 議 会	本地原小会長
※ 2奥 村 紀 代 子	地 域 活 動 連 絡 協 議 会	副 会 長
久 野 博 行	ス ポ ー ツ 協 会	副 会 長
鬼 頭 由 子	公民館自主活動サークル(パソコン)	
佐 野 安 伸	公民館自主活動サークル(写真)	副 会 長
秋 田 芳 忠	公民館自主活動サークル(ビッグバンド)	代 表
齋 場 裕 子	公民館自主活動サークル(吹奏楽)	団 長
※ 1下 村 波 基	地 区 公 民 館 等 利 用 者 協 議 会	理 事 (瑞鳳連合自治会長)
荻 原 永	公 募 委 員	
林 秀 和	公 募 委 員	

7 図書館協議会委員（１０人）

（任期：令和５年６月１日～令和７年５月３１日）

※１の委員の任期：令和６年６月１日～令和７年５月３１日

※２の委員の任期：令和５年７月１日～令和７年６月３０日

氏 名	所 属 団 体	役 職 等
速 水 一 美	旭 小 学 校	校 長
林 建	白 鳳 小 学 校	教 務
加 藤 り え	旭 野 高 等 学 校	教 諭
永 井 か よ み	地 域 婦 人 団 体 連 絡 協 議 会	会 長
小 林 ふ み 子	図 書 館 お は な し 会 ボ ラ ン テ ィ ア	代 表
加 納 智 恵 子	地 域 活 動 連 絡 協 議 会	代 表
※ 1 齋 場 絢 子	小 中 学 校 P T A 連 絡 協 議 会	副 会 長
富 田 裕 平	名 古 屋 産 業 大 学	准 教 授
滝 浪 常 雄	名 古 屋 学 院 大 学	教 授
※ 2 松 本 由 美 子	公 募 委 員	

8 スポーツ推進委員（１９人）

（任期：令和６年４月１日～令和８年３月３１日）

氏 名	役職等
秋 田 雅 史	
井 上 明 子	
岩 橋 三 枝	
岡 本 啓 子	
加 藤 省 吾	
鐘 ケ 江 勝 晴	
木 田 雅 子	
小 林 文 子	
鈴 木 一 平	副委員長
祖 父 江 里 江	
中 尾 高 子	
長 坂 三 喜 代	
濱 地 智 英	

福 嶋 喜 美 子	委員長
藤 井 鮎 美	
二 村 誠	
古 市 み ゆ き	
三 浦 雅 子	
森 下 鐘 一	

学校医・学校薬剤師

(令和6年度)

学 校 名	区 分	氏 名	医 療 機 関 等 名
旭 小 学 校	内 科	佐 伯 公	佐 伯 小 児 科 医 院
	歯 科	小 川 次 郎	お が わ 歯 科 医 院
	耳 鼻 科	加 藤 寿 弥	としや耳鼻咽喉科クリニック
	眼 科	大 岩 裕 泰	あさひ眼科クリニック
	薬 剤 師	森 純 子	あ い 薬 局
東 栄 小 学 校	内 科	飯 田 茂 幸	飯 田 ク リ ニ ッ ク
	歯 科	柴 田 敬 介	しばた歯科・矯正歯科
	耳 鼻 科	小 出 明 美	こ い で 耳 鼻 咽 喉 科
	眼 科	馬 嶋 紘 策	馬 嶋 眼 科 医 院
	薬 剤 師	池 永 晃 代	ぽ ぷ り 薬 局
渋 川 小 学 校	内 科	町 田 英 之	本 地 ケ 原 ク リ ニ ッ ク
	歯 科	玉 井 量 善	尾 張 旭 歯 科 ク リ ニ ッ ク
	耳 鼻 科	加 藤 眞 二	加 藤 眞 二 ク リ ニ ッ ク
	眼 科	近 藤 三 博	近 藤 眼 科 ク リ ニ ッ ク
	薬 剤 師	稲 葉 綾 子	い ず み 薬 局
本 地 原 小 学 校	内 科	山 内 雅 博	あ さ ひ 内 科
	歯 科	林 雅 弘	は や し 歯 科
	耳 鼻 科	加 藤 眞 二	加 藤 眞 二 ク リ ニ ッ ク
	眼 科	振 本 常 弘	ほんじ眼科クリニック
	薬 剤 師	加 藤 久 美	緑 ケ 丘 薬 局
城 山 小 学 校	内 科	金 森 俊 輔	か な も り 小 児 科
	歯 科	月 村 雅 史	月 村 歯 科 ク リ ニ ッ ク
	耳 鼻 科	土 屋 吉 正	土屋耳鼻咽喉科クリニック
	眼 科	太 田 由 枝	太 田 眼 科 医 院
	薬 剤 師	浅 井 秀 之	浅 井 調 剤 薬 局
白 鳳 小 学 校	内 科	金 森 寛 幸	庄 南 内 科
	歯 科	柴 田 浩 二	し ろ ま え 歯 科
	耳 鼻 科	土 屋 吉 正	土屋耳鼻咽喉科クリニック
	眼 科	太 田 由 枝	太 田 眼 科 医 院
	薬 剤 師	柴 田 桂 子	し ろ ま え 歯 科

瑞鳳小学校	内 科	山 本 ゆかり	ひでき・ゆかりクリニック
	歯 科	増 井 丈 人	ま す い 歯 科
	耳 鼻 科	加 藤 眞 二	加 藤 眞 二 クリニック
	眼 科	振 本 常 弘	ほんじ眼科クリニック
	薬 剤 師	吉 田 昇 平	ス ギ ヤ マ 薬 局
旭丘小学校	内 科	新 川 正 治	あ ら か わ 医 院
	歯 科	可 児 寿 英	か に 歯 科 医 院
	耳 鼻 科	加 藤 寿 弥	としや耳鼻咽喉科クリニック
	眼 科	馬 嶋 紘 策	馬 嶋 眼 科 医 院
	薬 剤 師	加賀爪 敬 子	ア サ ヒ 薬 局
三郷小学校	内 科	加 藤 誠 章	加 藤 内 科 クリニック
	歯 科	古 峪 秀 樹	コ ザ コ 歯 科 医 院
	耳 鼻 科	小 出 明 美	こ い で 耳 鼻 咽 喉 科
	眼 科	大 岩 裕 泰	あさひ眼科クリニック
	薬 剤 師	古 田 さち代	—
旭中学校	内 科	安 藤 郁 子	旭 労 災 病 院 小 児 科
	歯 科	犬 飼 由 朗	犬 飼 歯 科
	耳 鼻 科	加 藤 寿 弥	としや耳鼻咽喉科クリニック
	眼 科	太 田 由 枝	太 田 眼 科 医 院
	薬 剤 師	白 井 直 子	ど ん ぐ り 薬 局
東中学校	内 科	中 嶋 博 久	な か じ ま クリニック
	歯 科	山 崎 雅 弘	どんぐり歯科診療所
	耳 鼻 科	小 出 明 美	こ い で 耳 鼻 咽 喉 科
	眼 科	大 岩 裕 泰	あさひ眼科クリニック
	薬 剤 師	丹 羽 松 弘	ぽ ぷ り 薬 局
西中学校	内 科	松 尾 功	松 尾 医 院
	歯 科	堤 知 宏	い ん ば 歯 科 医 院
	耳 鼻 科	土 屋 吉 正	土屋耳鼻咽喉科クリニック
	眼 科	近 藤 三 博	近 藤 眼 科 クリニック
	薬 剤 師	加 藤 富士子	—

教育関係施設一覧

	所在地	市外局番 尾張旭市 (0561)	
		電話	FAX
尾張旭市教育委員会 (尾張旭市役所)	尾張旭市東大道町原田2600-1	53-2111	52-2901
旭小学校	// 西の野町五丁目1	53-2035	52-2906
東栄小学校	// 東栄町三丁目5-1	53-2926	52-2911
渋川小学校	// 渋川町一丁目5-8	53-2044	52-2909
本地原小学校	// 南新町中畑252	53-2702	52-2913
城山小学校	// 城山町城山13-1	53-5020	52-2910
白鳳小学校	// 白鳳町一丁目12	53-5700	52-2912
瑞鳳小学校	// 大塚町二丁目10-1	052-773-2391	052-777-0174
旭丘小学校	// 大久手町上切戸117-1	54-3066	52-2907
三郷小学校	// 瀬戸川町一丁目122	54-8777	52-2908
旭中学校	// 向町二丁目4-2	53-2910	52-2903
東中学校	// 下井町前の上1602	54-6511	52-2905
西中学校	// 渋川町三丁目2-9	54-1191	52-2904
中央公民館	// 東大道町山の内2410-2	54-5300	52-5766
渋川公民館	// 渋川町一丁目6-1	53-8600	53-8861
瑞鳳公民館	// 大塚町二丁目10-2	052-773-1466	052-771-5969
三郷公民館	// 井田町三丁目163	54-4500	57-1507
藤池公民館	// 東栄町一丁目4-7	54-8722	52-0151
平子公民館	// 平子町中通219-2	54-9290	52-5393
本地原公民館	// 緑町緑ヶ丘100-10	54-9291	52-5644
白鳳公民館	// 白鳳町二丁目20	52-0690	78-2722
旭丘公民館	// 大久手町上切戸70	52-1624	52-5643
宮浦公民館	// 稲葉町四丁目75	54-3738	54-3728
文化会館	// 東大道町山の内2410-11	54-8500	52-4222
図書館	// 東大道町山の内2419-5	54-5544	54-5543
どうだん亭	// 霞ヶ丘町南298		
総合体育館	// 東大道町原田2578	54-2733	52-2902
城山テニスコート	// 城山町長池下地内	54-3971	同 左
晴丘テニスコート	// 東本地ヶ原町二丁目112	52-2914	//
弓道場	// 城山町長池下地内	54-3971	//
城山野球場	// 城山町長池下地内	54-3971	//
市民プール	// 上の山町間口2485	53-0606	(7・8月のみ)
晴丘運動広場	// 東本地ヶ原町二丁目112	52-2914	同 左
旭ヶ丘運動広場	// 旭ヶ丘町濁池地内	54-1166	//
旭ヶ丘テニスコート	// 旭ヶ丘町濁池地内	54-1166	//
旭ヶ丘デイキャンプ場	// 旭ヶ丘町濁池地内	54-1166	//
南グラウンド	// 南栄町旭ヶ丘地内		
学校給食センター	// 旭前町新田洞5005-6	53-2971	53-8751
愛知県立旭野高校	// 東印場町三丁目4-1	53-5200	
名古屋産業大学	// 新居町山の田3255-5	55-5101	
名古屋経営短期大学	// 新居町山の田3255-5	54-9611	
東春暁幼稚園	// 旭前町四丁目6番地1	54-2423	
旭富士幼稚園	// 旭ヶ丘町森87	53-5262	
しらぎく幼稚園	// 北本地ヶ原町三丁目38	54-4790	
愛英本地幼稚園	// 南本地ヶ原町一丁目26	54-6311	

尾 張 旭 市 の 教 育

(令和6年10月発行)

編集 尾 張 旭 市 教 育 委 員 会